新京日日新聞
夕刊
九月十八日
本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓 ……
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三二一五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河栄忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

四たび迎ふ事變記念日

忠魂眠る忠靈塔に捧ぐ日滿の赤誠
鄕軍分會では國都警備演習 國都は擧げて非常時

滿洲事變こゝに四周年、友邦建設の尊き犧牲となつて永劫に眠る英靈に日滿兩國民が心からの感謝を捧げる日を迎へた、滿洲の招魂祭秋季例祭は十八日午前九時から淸澄の氣溢れる忠靈塔廣場で事變犧牲者の遺族を始め南關東軍司令官、津田海軍部司令官、張國務總理以下日滿顯官並に在京各部隊、各學校生徒兒童、在鄕軍人、防護團、各團体約一萬參列の下に神式によつて嚴肅に執り行はれた、この日意義深き慰靈祭の盛典を迎へ爽凉の秋空は朝から淸く澄みわたり初秋の陽光さん〳〵と式場に溢れて絕好の招魂日和に勇魂に輝く榮光はいやましてゐた

この日 勇魂の眠る忠靈塔は南、津田兩軍司令官、張國務總理を始め日滿各方面から贈られた供物が祭壇高く盛られ眞榊が祭場に飾られて壇の兩側に立てられた五色の吹流しがへんぽんと爽風にはためくうちを定刻前既に一萬の參列者は祭場を埋め盡してしまつた、午前九時神官は祭典開始を白す續いて嚴なる神樂が祭場に鳴り響くうちを修祓、降神の儀が滲められ獻饌を終れば祭典委員長濱本少將は全員起立裡に祭壇に上り祝詞を奏上忠靈の顯德を白上した、終つて濱本委員長、南軍司令官、三橋遺族代表、陸軍代表、西尾參謀長、海軍代表、津田司令官、大使館代表谷參事官、關東局代表大野總長、滿鐵代表河本理事、滿洲國代表張國務總理、米田傷病軍人代表、在鄕軍人代表五十嵐少將、在京官民代表川村總領事の順序で玉串奉奠がありその間在京部隊はれいろうたる

喇叭の 音も嚴かに英靈の靈前に「捧げつゝ」を行ひ續いて警察官滿鐵社員、防護團、青年學校並に各校生徒兒童が參拜、撤饌、昇神の儀を終へ最後に濱本委員長は忠靈顯彰會を代表し

本日秋季例祭を開催致しましたところ軍司令官閣下張國務總理閣下を始め多數の參拜を載き又各種の供物を頂戴し無事嚴肅に祭典を終了しましたことを厚く御禮申上げます、英靈もさぞかし喜んでゐることゝ思ひます有難うございました

と挨拶をなし午前十時十分意義深き祭典を終了した

國都警備演習
白兵戰後打揃ひ忠靈塔參拜

十八日拂曉未だ晴れやらぬ朝靄を衝いて國都の一角に突如轟き渡る銃聲、市民の夢を破る號聲―四年前の追憶を新たに在鄕軍人、商業學校、青年學校生徒より成る武裝部隊一ケ大隊、徒手部隊一千余名と新京警備隊〇〇〇名合同の國都警備演習は午前七時大同廣場南方に當つて第一線を切つた、斯くして廣瀨大隊長の率ひる在鄕軍人團は右翼を守る警備隊と協力逐次戰線を展開して順天廣場に向つて步武を進め白山公園を中心に附近一帶を濛々たる硝煙に包んで進擊また進擊、午前八時遂に順天廣場に最後の白兵戰を敢行して意義深き記念演習を終つた、なほ演習を終つた各部隊は小憩の後隊伍を整へ行進ラッパも勇ましく步武堂々忠靈塔に參拜した

參加二千名突破

在鄕軍人會新京聯合分會では滿洲事變記念當日の警備演習に參加する會員は一千名以內の程度と考へて朝食の準備をその加減でやつてゐたにも拘らず當日演習に參加者は實に二千名を突破するの熱心さで幹部連中を面喰らはせとり敢へず不足の分を漸く間に合せた程でこの會員の熱心ぶりに當事者も大喜びであつた

警備演習終了後 鄕軍分會長推戴
步武堂々分列式擧行

在鄕軍人會新京聯合分會では十八日滿洲事變記念日をトして四戶前聯合分會長への感謝狀贈呈式及び五十嵐新聯合分會長の推戴式を新京神社前で擧行した、即ち警備演習終了後午前十一時廣瀨大尉の總指揮で在鄕軍人約二千餘名中央通りに閱兵式の隊形で整列、まづ岩坂副會長から四戶前會長に在職中の勞を謝し感謝狀及び記念品を贈呈された、次に五十嵐少將の推戴式に移りこゝに新會長を迎へて第一回の閱兵分列式が行はれた、馬上豐かな五十嵐會長は岩坂副會長、四戶前會長、稻葉幹事以下十餘名幹事を扈從して整然と並べる混成二個大隊の閱兵を中央通り警察前から常盤町へ向つて行ひ、同二十分から行進ラッパの吹奏裡に步武堂々北から南へ進む分列を新京神社大鳥居前で馬上からうけて十一時三十分終了した

文化學院生 傷病兵訪問

滿洲事變四周年記念日に當つて第一線の治安工作に殉じた名譽ある戰傷病者を慰安するため特別市文化學院男女學生七十余名は十八日午前十時ごろ衞戍病院を訪れ滿人小國民の心からなる感謝を捧げて劇的場面を展開し日滿親善の範を垂れた、なほ午後は一時ごろから糸井劇團一行の慰問劇あり無聊をかこつ傷病兵を大いに慰めて退出した

西公園で祝宴

新會長の推戴式を終へた在鄕軍人會新京聯合分會では十二時西公園トラックに集合、滿洲事變記念祝賀會をかねて祝宴を開き午後零時半解散した

釀造家酒類販賣店から 酒類寄贈

在京釀造家並に酒類販賣店では十八日擧行された事變四周年記念警備演習の勞を犒ふため在鄕軍人聯合分會宛左記の如く淸酒及びビールを寄贈したが、聯合分會ではその意を感謝して本部より謝狀を贈呈するべく目下申請中である

福鶴 大樽一挺 石川
吾妻 同 香原
水晶冠 同 手塚
九十九 淺野
富貴長 森川
サッポロビール 西村

海友會競點射擊

鄕軍海友會では黃海々戰記念日たる十七日陸軍射擊場において駐滿海軍部の現役下士兵と競點射擊大會を擧行したが成績は次の通りで津田司令官賞は現役、次賞は鄕軍側に落ちた

競點射擊優勝者

優勝津田司令官賞(現役)明慶▲次賞岩坂會長賞(鄕軍)小笹▲特別賞富屋洋行贈賞(現役)小坂(同)福永(鄕軍)林(同)安達(現役)服部

得點▲三四點福永▲二八點古谷▲二六點小笹▲二六點服部▲二六點市川▲二三點熊崎▲二三點坂井▲二一點武藤▲一八點明慶▲一五點林

松岡總裁歸連

【大連十八日發國通】松岡滿鐵總裁は十七日午後十時半大連驛着のアジアで歸連したが副總裁二人制を否定しつゝ左の如く語る

大村部長はその高潔なる人格に依賴して後任副總裁に推薦した、同氏は鐵道の專門家でもあり極めて適任であると思つてゐる、滿鐵學の硏究はやつと半分位進んだ、これから滿鐵の實体をはりつきとめて資金計畫、北支工作、產業開發等の方針を樹てたいと思つて居る

黃郛政權沒落し
北支の要人異動注目さる

【奉天國通】某機關に達した情報によれば北支に於ける黃郛政權沒落に伴ひ黃郛氏の

懷刀 として華々しく活躍した北寧鐵路局長殷同氏をはじめ王克敏氏、北平市長袁良氏等の今後の動向は注目に値するものがある即ち黃氏の片腕として對外工作と政費の援助調達等に敏腕を振ひ一方の旗頭として重きを爲してゐた殷同氏も黃政權の沒落により失脚北寧鐵路局長辭任も時期の問題と觀測せられ早くも後任として現隴海鐵路委員長劉景山氏の呼聲が高い、一方財界に於る手腕を信賴せられて北平政務整理委員會代理委員長となつた王克敏氏も同會解消後閑地に在つたが近く辭任を傳へられる現天津市長程克氏の跡を襲つて同市長就任說が有力である、北平市長袁良氏は特に黃政權とは深き關係はないがその影響を受けて色褪く、前平津衞戍司令王樹常氏、殷汝耕氏等の北平市長の椅子獲得運動は相當猛烈で、袁市長辭任も遠からず實現するものと觀測される等大物の

沒落 は著しいものがあり、之に伴ふ新勢力の擡頭は北支政界に波瀾と興味を與へてゐる(挿畫は黃氏)

華北游記 山口愼一

八、北海

八月三十日朝、私は俥を北海へ走らせた。俥は昔の宮城と景山の間の綺麗な道を通り更にアカシアのトンネルを走つて朝まだ人もまばらな北海に着いた。

入場料銅元二十枚を拂つて中に這入るやはり生活に餘裕ある人たちはゐるもので、蓮池にボートを浮べ、岸に竿を垂れてゐるこの國の淸楚な服裝をした連中はもう朝の靜けさを樂んでゐる。空には遊覽飛行らしく、一機低く飛んでゐる。時折りの自動車の警笛以外にはこれといふ物音も聞えぬこの都では、空行く銀機のうなりはひとつ飛び拔けた近代音である。

私は池に臨んだ茶亭に寄つて籐椅子に腰を卸し、僕役に龍井を言ひつけた。午前十時半前には客もゐない。巡捕か僕役と何やら靜かに話してゐる。近くに釣をしてゐる若い洋服の男がゐて、その細君であらう、やゝ肥つた愛嬌のあるひとが傍の手すりに掛けてゐる。魚は釣れないらしい。

私はやゝ空腹を覺え、飯が出來るかと訊いた。出來るといふ、それならばと、什錦炒飯を命じて暫らくを待つた。

やがて什錦炒飯が運ばれて來た、なか〳〵に美味だつた。これでお茶と合せて四角八分一毛錢のチップを置いて丁寧に送り出されたものだ。

四人ばかり、モダンな連中がボートを近付けて來た、すなはちカメラを動かせたのだが北海の一部の風景、うまく私のカメラにはいつたかどうか…

中學校の制服であらうか、カーキ色のお揃ひでやつて來る若者たちがあつた、さつきの夫婦は釣りを切り上げて歸つて行つた。日本人の觀光客らしい二人連れが物珍しげに露店で何か買つてゐたが「なんだ、瓜の種子だよ」と言つて所有權を放棄したそれを通りかゝつた子供にやらうとしたら、子供は逃げて行つた。

北海の入り口には、北海關係の諸役所、機關の名稱と所在、また北海の中にある色んなものの說明、そして賣店茶店、で賣つてゐるもの價格品質までを書いて建てた札が立つてゐる、サイダーの衞生合格まであるのを見て行き屆いたことではあると思つた。

(寫眞は北海にある龍壁―山口撮影)

その日〳〵

急いでは事を仕損じる、何でも綴り考へた上でやるつもりだ

□

伊、エいよ〳〵戰端開始を報ず、なんとなく往年獨逸の橫暴にも似たのがイタリーのこの頃

□

列國の對伊態度强硬、第二次世界大戰の導火線とならねばよいが……

□

事變記念日を四度び迎へて心身の緊張を覺ゆ、今夜十時がそも發端

□

鄕軍新分會長を迎へ意氣更に揚る、第一線鄕軍將兵は點呼のみでは足らぬ

□

第二次滿洲里會議本月末再開果して諸懸案一擧解決と來ればめでたし〳〵だが

人事往來

▲木村春雄氏(滿洲國陸軍少將)十七日午後來京新京ホテル▲吉川雄郎氏(一等主計)同▲小山致公氏(陸軍少佐)同▲毛利福太郎氏(鑛山業)同▲松田省三氏(滿洲綿花協會職員)十八日午前來京同▲佐藤義充氏(滿鐵社員)同▲三田村宗一郎氏(貴金屬商)同▲靑木兼藏氏(メリヤス製造業)同▲遠山源造氏(運動具商)同▲依田四郎氏(蒙政部次長)十八日午前發大連へ▲外山中將同瀋陽へ▲笹川軍醫監(ハルビン衞戍病院長)同ハルビンへ▲松田義雄氏(朝鮮銀行理事)同大連へ▲靑木信一氏(關東軍交通監督部)十七日午後發承德、▲秋山玉吉氏(日本大學山岡硏究室主任)十八日午前發ハルビンへ▲闕弘氏(奉天鐵道事務所營業課長)十七日午前來京ヤマトホテル▲粟屋秀夫氏(滿鐵審査役)同▲小黑隆太郎氏(大連、土建協會理事)同▲今井重太郎氏(大阪會社員)同▲中川吉造氏(工學博士)十七日午後來京ヤマトホテル▲高田治彥氏(東滿洲人絹パルプ會社員)同▲武者鍊三郎氏(中央海軍訓練部軍事敎官)十七日午後來京名古屋ホテル▲祖川貞氏(陸軍中佐)同▲岩田薫氏(同)同▲南角長英氏(航空兵中佐)同▲小沼得四郎氏(北滿金鋼會社員)同▲竹淵槇一郎氏(公主嶺、大林組)同▲伊東義節氏(大連、極東企業會社員)同▲縣氏(同)同▲安邊浩氏(滿洲航空會社員)同▲藤田秀雄氏(日魯漁業會社員)同

團体

▲廣島縣三原女子師範學生六十四名十八日午後二時四十分發南行▲中華民國山東省淄川小學生三十名十八日午後七時四十五分來京二十日午前九時發南行▲新潟縣敎育會視察團十名十九日午後四時發ハルビンへ

エチオピア國境で 伊エ兩國戰鬪開始?

ジユネーヴへ達した情報

(ジユネーヴ十七日發國通至急報)當地入電に依ればエチオピア國境に於て伊、エ兩國軍の間に戰鬪開始された、公電は未だ到着しない

伊の非妥協宣言に 列國代表の態度齊しく硬化

【ジユネーヴ十六日發國通】イタリー政府の非妥協宣言は著しく列國代表部の態度を硬化せしめ、この空氣は總會に於る各代表の聯盟支持聲明を反映したものであるが斯る事態惹起の結果強硬派の頭目英國代表は斷然ジユネーヴの動向を支配する形勢にある、既に若干代表部間には今後伊政府がエ國に對し軍事行動に出る場合の經濟的制裁の方式に關し、折衝が行はれたとの事である、經濟的制裁の具体策に關しては英佛兩國代表部等を兩極として種々の提案が行はれてゐるが、代表部強硬制裁論者たる英國政府の立場は左の如くである

一、英政府は豫備的豫防的方策として全般的商業的金融的封鎖を主張する

一、英政府は單獨にて世界治安の維持にあたることを欲しない、しかし聯盟の決定であれば英國はスエズ運河封鎖をも敢て辭するものでない

一、英政府は聯盟が經濟的制裁を可決した場合には更に進んで萬一に備ふるため英國海軍の兵力發動を包含した制裁案をも提示する用意を有する

英國代表部の硬化の重大原因はラヴアール首相が十三日總會席上或程度協力の用意ある旨述べた事に少からず關聯あるものと觀られてゐる

英國空海の精鋭 地中海に集結

【ロンドン十六日發國通】英國主力艦は續々本國を拔錨地中海に寄港してゐるが今や百四十隻の海の精鋭と數千臺の空軍も待機中である

「伊太利は進軍のみ」 ム首相豪語す

【ロンドン十六日發國通】モーニングポスト紙はムツソリーニ首相の會談を掲げムツソリーニは最早イタリー軍の行動を停止させるは時期が遲い、イタリーは進軍するのみと述べてゐる

ジブラルタル 海峽封鎖

【ジブラルタル十六日發國通】ジブラルタル海軍鎭守府は地中海上の情勢急迫に鑑み要港入口を封鎖するに決し、十六日左の如く發表した

九月十六日以降海軍波止場南口を閉鎖一切船舶の通過を禁止する

美濃部博士 遂に起訴猶豫 處分決定は十八日

【東京國通】司法省首腦部は十七日午前より午後に亙り小原法相を中心として美濃部博士の處分問題に就き協議を遂げたが美濃部博士が上申書を提出し來たつて社會思想を動搖せしめたに對し深く責任を痛感し、貴族院議員を拜辭したいとの意向を仄かすに至つたので博士の意向を斟酌し起訴猶豫とすべきであるとの意見が司法首腦部の間に有力化し十八日正式決定した

東滿特委 片割れ潛伏か

滿洲國の治安攪亂を劃策せるソ聯赤色共產黨の活動を傳へられつゝある秋、間島省汪清縣地方に根據を有する東滿特委が最近根據地を琿春方面に移動したと云はれてゐるが、移動に先立ち本月初め同特委は幹部會議に於て左の重要事項を決定したと傳へらる、即ち各都市を攪亂する都市潛入班なるものを組織し、先づ第一次派遣員として周水與外五名を滿鐵沿線の某々都市に潛入せしめ積極的に黨の擴大強化をなすと共に破壞工作の訓練を行ひ漸次各地を移動し、本月中に琿春に引かへすべく密令を發せるものゝ如く而してこれ等の工作員は日滿語を解し外交に秀でた滿人であるが、中に金應烈なる一人の朝鮮人あり或は當地に潛入せるやも計られず當地機關に於ても金の所在につき嚴重調査を進めてゐる

事變以來の 戰死傷者數 一萬一千三十五名

【東京國通】昭和六年九月十八日滿洲事變發生以來本年九月十日までの名譽の戰死傷者は十七日左の如く陸軍省から發表された

戰死	二千七百五十八名
戰傷死	三百九十八名
計	三千百五十六名
戰傷	七千八百七十九名
合計	一萬一千三十五名

懷中から 蟇口三十餘個

市內日本橋郵便局及び中央郵便局窓口に於て頻々として起る掏摸につき新京署では犯人捜査中のところ十七日午後四時頃城內三馬路老市場內で擧動不審の支那人を發見、嚴重取調べると原籍錦州城內生れ住所不定無職于得水(三六)で懷中には今まで掏摸とつた蟇口三十餘個所持して居り附屬地日本橋通郵便局、中央郵便局其他數個所にて掏摸を働いたことを自白したか引續き餘罪取調べ中

阿片零賣所荒し

本年七月以來附屬地阿片零賣所を荒して廻る怪盜[illegible]つき新京署では極力犯人捜[illegible]ところ十七日午後九時頃市內祝町五丁目小蓬仙阿片零賣所に於て擧動不審の男を新京署員が發見本署に連行取調べると原籍奉天省營口縣本街生れ新京城內西五馬路居住戴俊元(三二)で懷中には同商內で窃取した現金三圓を所持して居り數十回に亙る犯行の一切を自白したが餘罪なほ嚴重取調べ中

地委戰線俄然異狀! 江部高女校長が突如名乘り? 教育團側の慫慂に意動く

今回の地方委員選擧に際し、教育團側ではぜひとも代表者を送るべくさきに上原室町小學校長に立候補を慫慂、氏の出馬を促したが氏は健康上その他の理由を以て極力固辭し一時頓挫してゐたところ、最近には新京高等女學校長江部易開氏を推すことゝなり、教育團代表として各學校長並に主席ら打揃つて十七日江部校長と會見說得に努めた結果、同氏は極力固辭したるも結局周圍の情勢はこの際出馬のほかなきものとして、同氏も十八日大体最後の決意をしたものと見られ、學校方面は各候補の混戰地だけに頗る注目されてゐる、右について江部氏は語る

どうも早耳ですね、實は昨日來うんと責め立てられ、自分は適任者でもなく、また政治方面に立入ることは極力避けたいと思ふのですが、この分ではどうしても引受けるより致し方あるまいと思つてゐます、その節は何分とも宜しくお願ひします

小田切氏に代つて 古城氏起たん 籠谷保氏遂に斷念

早くから地方委員として立候補を傳へられた新京電業局小田切盛三氏はさきに電業公司人事異動の結果、本社檢査役に榮轉した爲出馬斷念の余儀なきに至つたが、電業公司はぜひその後釜に何人かを推す意向で、今のところ、現新京支店庶務課長古城良知氏に內定してゐる模樣である、なほ「ひとのみち」敎團方面をバツクに極力出馬を慫慂されてゐた前地方事務所涉外係長籠谷保氏は適任者でない故を以て極力固辭した結果、推薦者も遂に諦めるに至り同氏の斷念は確實となつた

得丸助太郎氏 立候補挨拶

商工日報社長得丸助太郎氏は新京地方委員改選に際し再び立候補することゝなり十八日午前挨拶のため本社を來訪した

金泰洋行で萬引

原籍奉天省生れ住所不定無職揚廣柱(三〇)は十七日午後四時頃日本橋通金泰洋行にて味の素四個を窃取して逃走せんとするところを張り込みの新京署員が逮捕し目下嚴重取調中であるが餘罪多數ある見込みである

日滿支親善飛行 新京到着

日滿支親善飛行の愼機は敦化不時着の爲豫定を遲らせ、本日午後一時新京飛行場に到着したが、日滿要人及び朝鮮人居留民會員外多數の出迎へあり特別市長韓氏令孃明麗さん川崎總領事令孃皆子さん、綾子さん及び朝鮮人居留民會長金道根氏令孃純姬さん等が花環を贈つて華やかな歡迎陣を展開した

錦ビル 家賃一割値下

住宅の拂底に乘じ家賃の高率と家主の橫暴は國都名物の一つとして齊しく口にするところであるが最近アパートの增加につれ幾分住宅は緩和された感あり家主の中にぼつ〳〵家賃の値下げを行つてゐるものもあるやうであるが錦町ビルでは十月一日より總体に家賃を五分値下げし半年以上の居住者には一割の値下げを斷行することになつた

馬糞の街を明朗に 城內各戶に布告 毎日二回の清掃と便所完備へ

雨降れば泥濘化し、乾けば馬糞の濛塵に埋まる市民衛生施設の點に就て遺憾の點多い現狀に鑑み、市公署では先づ市內の清掃に力を注ぐことになり、毎日午前六時と午後二時の二回市內全戶の清掃を勵行させることになり、十七日市長の名を以て布告を發した、尙之が勵行に對しては市公署衛生科が全力を擧げて當る筈である、尙之と同時に市內各家屋に一定方式による便所を設備させることになり、各家屋の家主に對し同樣の命令を發した

渡歐學生軍 ひかりで歸國

今朝六時二十五分ハルビンより來着した歐洲遠征よりの歸途にある學生陸上競技選手は昨夜來京の山本博士と共に午前七時發「ひかり」で朝鮮經由歸國した

二十日から 秋季特別警戒

新京署及び各警察署の夏季特別警戒は豫想外の好果を收めてゐるが關東局警務部では更に二十日から十二月十日まで秋季特別警戒を實施して國都治安の萬全を期すことゝなつた

廿九チーム第一走者 勇躍スタート 本社後援 第四回戰跡訪問マラソン

事變四周年を祝福する意義深い新京体聯、時局後援會主催本社後援の第四回寬城子南嶺戰跡訪問マラソン大會の日はついに來た、この日朝來一點の雲もなく絕好の秋晴である大會のスタートに設けられた西公園入口は紺碧の空高く聯盟並に本社旗が大會を祝し且つこの日の榮冠を荷負ふ健脚を迎へてゐる、榮冠は誰れか午前十一時には堂々たる廿九チームの選手が隊伍を組んで續々と押寄せ早くも大廣場を埋し人氣は彌が上にも沸騰した、正午指揮者の合圖と共に昨年の優勝チームアスレチツク倶樂部を先頭に順次入場し國歌合唱と共に國旗は嚴かに揭揚された、次で武田會長代理野村社會主事の開會の挨拶終つて上田審判長の注意後スタートを飾る二十九選手は白線に整列し岡スターターの合圖に華々しく大會の幕は切つて落された

大成號參加 結局廿九チーム

本社後援の第四回戰跡マラソン大會は空前の人氣を呼んで參加チーム實に二十八チームとなつたが、更に十八日になつて西五馬路大成號チームの申込があり合計二十九チームとなつた、大成號チームのメンバーは左の如し

持留金藤 四十五才
持留正則 十八才
持留正秋 十六才
堀之內秀雄 二十六才
吉田 三十四才
伏見武次郎 二十四才

事變以來の獻納 二千萬圓

【東京國通】滿洲事變滿四周年を迎へるが今日まで飛行機一一六其慰問品を加へると國防獻納金は二千萬圓に上る

蘇炳文兵亂時の邦人保護に對し ソ聯へ代償金を支拂ふ

【東京國通】十七日の定例閣議で過般の北滿に於ける蘇炳文兵亂の際ロシア側が邦人保護のために種々の便宜を與へられた其費用代償につき協議の結果二十萬圓をロシア側に支拂ふことゝなりこれを第一豫備金から支出するに決定した

內閣調査局 民間學者を委員に任命

【東京國通】內閣調査局は具體的問題の審議に入るため十七日上奏御裁可を經て十九日三十九名の專門委員を任命國策樹立に邁進することゝなつたが右の中には民間經濟學者石橋湛山、高橋龜吉、山崎清純の諸氏をはじめ新聞社幹部四名其他諸大學敎授、實業家等を含んでゐる

日滿劍道爭霸戰 近く開催?

大同二年八月第一回の對抗戰を行つた滿洲帝國武道會劍道部と新京武道獎勵會の對抗戰は、昨年の全滿武道大會等の行事のため延期中の處、滿洲國側では、此の對抗戰を飾る武藤杯、鄭孝胥氏の銀牌の爭奪戰を行ひ滿洲武道の發達に貢獻し併せて日本精神の作興を圖るべく滿洲國側より十六日挑戰狀を發送したが、之に對し新京側でも決然立つて此の大敵を擊破すべく近く華々しい大試合が擧行せられるものと期待されてゐる

張志潭氏逝去

【天津十七日發國通】元北京政府交通總長張志潭氏は昨年以來中風に惱んでゐたが、十六日夜九時逝去した、享年五十二張氏は近年來吳佩孚氏の再起運動並に反蔣運動を劃策してゐた

仙人掌

大連の「パゴタ」では洋酒の計り賣りをやつてゐるが、新京では其處まで行かぬものか少くともウオツカのやうなものだけでもやつてみたら面白からうと思ふ▲半分をおでん屋風に變へるといふ噂さだつたハルが又もや轉向の說がある、かと思へば某喫茶店女主人、いよ〳〵近日華やかに結婚行進曲を奏する▲病院東横の「日の出」シウマイ、表てを造作し替へおでん等も作るやうになつたから紹介して置く

天氣と氣温

明日の天氣 西寄の風晴一時曇
日の出 午前五時二十一分
日の入 午後五時四十四分
月の出 午後九時四十一分
月の入 午前〇時五十五分
けふの氣温 最高 十九度七 最低 四度七

街の日記

赤十字支部で ポスター懸賞募集

日本赤十字社滿洲委員本部では今回左記によりポスター圖案の懸賞募集をなすと

▲賞金―五十圓(一等一名)三十圓(二等二名十五圓宛)二十圓(三等四名各五圓宛)
▲構圖は非常時局に直面し赤十字主義の精神(戰時事變の救護博愛報國)特に日滿不可分の關係を强調し且つ圖中に赤十字及赤十字デー十一月十五日十六日十七日日本赤十字社滿洲委員本部の文字を簡明に現はすこと
▲使用色彩は隨意▲用紙は縱二尺五寸橫一尺七寸とす
▲送附は旅順市關東廳內日本赤十字社滿洲委員本部宛
▲締切期日十月十日

馬車の忘れ物

▲九月十三日南關東道溝詞、滿人用喇叭(大經路警察署に保管)
▲九月十三日西公園滿鐵醫院間、灰色毛布(右同)
▲九月十一日七馬路新京驛間、茶色手提袋卒業證書一寫眞額緣一其他雜品在中(右同)
▲九月十四日茶色手提袋手紙封筒在中(右同)
▲九月十三日軍隊用夏外套(右同)

あ、す(十九日)

▲南嶺記念碑除幕式並に慰靈祭 午前九時三十分晴雨不拘
▲寬城子故勇士慰靈祭 午後一時三十分警察官講習所橫記念碑前

今晩の主なる放送番組

▲七・〇〇物語神々の女(東京)高津慶子▲七・四〇長唄二巴(大阪)唄杵屋勝五郎外▲八・一〇舞踏音樂(第二夜)交響曲黃金時代より十九世紀前半(大阪)―桃谷演奏所より中繼―

けふの銀相場

國幣對金票 一〇四〇
鈔票對金票 [illegible]
國幣對鈔票 ―
現大洋對鈔票 ―

誰が殺したか
(上映上演禁)
國枝史郎作　龍造寺雄畫

七三　第二の殺人　四三

映山がおそくおきて、浮ぬ顔をして、書齋で新聞を見てゐるところへ、水谷刑事が訪ねてきた。

映山は、名刺を見て眉をひそめたが、會はないわけにはゆかないので、應接間に案内さした。

「僕は、映山です」

「左樣ですか、私は水谷です、お早くからお邪魔いたしまして」

「いや………」

「ア、それから、課長から、よろしく申しました」

「さうですか、ありがたう……そしてご用は……?」

「サア用と言つても、あらたまつたことでもないですが、實は、課長から峰山の令嬢の研究は、その後どうなつてゐるか、くわしく、おうかがひするやうに申されましたので………」

「はゝアなるほど、さうですか。困つたことには、あれから、思ふやうに進行して居りませんので」

「それでは、全然、お見込みがなくなつたわけでないのですか、どうでせう?」

「いや、見込がないといふわけではないが………なにしろ、どうも、あの死因を發見するのは、容易なことではありませんので」

「ごもつともです。それでは、もうお見込みがないといふわけですな?」

水谷刑事は、なぜか、この言葉の尻に力をいれた。

「サア、マア、そんなものですね………」

映山は、うかうかと、何氣なくかう言つてしまつた。

「お見込がなければ、放棄なすつたがいゝぢやありませんか?」

水谷刑事の眼は、探るやうにピカリとひかつた。

「研究……さう簡單にも出きませんね」

映山は、いくらかごまかすやうに、出來るだけ、平然と務めながらいひつくろつた。

「貴方は學者だから、當然のことかもしれませんが、さうして、九分どうりお見込のないものに、執着してゐられるのが、私たちから考へると不思議に思はれますね　ずいぶん、ご執着のやうですが……?」

また、水谷の眼が、ひやゝかにピカリとひかつた。

映山の顔は蒼ざめて、或るかすかな狼狽をみせた。いさゝか驚きの目をもつて、水谷刑事の顔を見た。

水谷刑事は、冷笑するやうに、目で笑つてゐた。

「學者は、たとへその研究は、障碍となつても、なほ、その研究を棄てまいとするのが、すなはち學者的良心でからね!」

映山はこんどは、强くいひ切つた。

「ごもつともです。しかし、私たちのやうに、學者的な良心なんていふものゝ、わからないものにはご執着がはなはだしすぎるやうに思はれるものですから……」

また、水谷刑事は、くすぐつたいやうなことを言つて、ジロリと映山の顔を見た。

そこへ、寝子がたづねてきたことを、女中が取次いだ。

(この篇今野賢三作)

笑話

友人「今度の結婚が、君に成功をもたらすことを祈るよ」

創作家「いや有難う。もう成功うたがひなしだよ。この前の嫁をモデルにした芝居は、三つともあたつたんだからな——」

◇—

映畫と演藝

コロムビア專屬　藝術家連來京
●來る廿三・四兩日●
•●記念公會堂で●•

コロムビア專屬大衆藝術家一行の來京は早くも各方面より異常な人氣をもつて待望せられてゐるが、一行は愈よ來る廿三、四の兩日に亘り新京蓄音機商組合主催の下に記念會堂において豪華多彩なプログラムをもつて開演することになつた、一行の顔振れは歌謠曲歌手以外に左の如く漫談、映畫物語、ジャズ、舞踊等の一流も加はつてゐることとて一倍の盛況が豫想されてゐる

(漫談)松本英一(映畫物語)泉詩郎(舞踊)並木松子、伊藤文子、花柳壽滿、(流行歌)青山薫、音丸、二三吉(三味線)小靜外コロムビア、シャズバンド

寫眞は音丸(中央)

撮影所だより

▲御影公子新興入社　蒲田のラッキースター御影公子は今回蒲田を退き新興東京撮影所に正式入所、近く第一回主演映畫を撮る豫定である

▲深田修造監督「大學の親方」に着手　「大學の赤ん坊」に次ぐ深田修造監督作品は岡齊與一氏になるオリヂナル「大學の親方」と決定、左の如きキャストで撮影に着手

島村義平=坂本武　同お澤=飯田蝶子　同宏=近衞敏明　細田重雄=阿部正三郎　お直=高松榮子　お峰=大塚君代　課長江口=齋藤達雄　百合子=小牧和子　夫人=吉川滿子　幹男=毛塚守彦　職人=突貫小僧　追加キャストは追つて發表

▲千田是也「半島の舞姫」に出演　新人今日出海監督第一回作品「半島の舞姫」に崔承喜の相手役をつとめるスタアを物色中であつたが新劇團の奇才千田是也に白羽の矢が立てられた、尚同映畫キャストの詳細は近く決定發表される筈である

雜音

「ロイドの大勝利」を觀て久しぶりにロイドを見たが、感ずることはロイドものも大分に變つて來たことである、かつての冒險とか、ドタバタ式の活劇がなくなつたことである、荒唐無稽に近い正義映畫が薄つぺらな化粧をほどこしてお目見榮してゐる、昔のロイド映畫の色彩が懷しい▲どうも寫眞の替りやうが早過ぎる、少くとも五日位は替はらずにゐて欲しいのであるが、不親切なことに各館共にその週のプロを何時までやつてゐるかを明示してくれないことが多いので迷ふこと一通りならず、何日間位の活字を並べる親切があつて欲しいものである▲近く天勝が來るそうである、今度のは正眞正銘本當の天勝なのださうである、本ものがことわりを言はねばならないのだから面白いではないか

マリアのお雪

第一映畫社映畫、溝口健二の「折鶴お千」に次ぐオールトーキーで川口松太郎の原作、高島達之助の脚色になる情緒もの、明治十年の西南戰役を背景に、眉目美はしい賤業の女と一薩軍隊士との交情を濃厚な低徊趣味で生かさうといふ果て知らぬ溝口好みの耽溺篇、主演者は山田五十鈴、夏川大二郎これに根岸東一郎、大泉慶治が特別出演し、芝田新、中野英治の顔も見え、原駒子、梅村蓉子、歌川絹枝等珍しい人達の助演もある 撮影は三木稔(スチールは山田五十鈴のマリアのお雪)—近日長春座上映

今日の銀幕街

△長春座—十七日より三日間田中絹代、城多二郎の「結婚街道」、右太衞門の「中仙道をゆく退屈男」田中絹代、齋藤達雄の「その夜の女」

△新京キネマ—十七日より三日間、岡讓二の「多情佛心」千惠藏の「斬風三尺劍」、南光明の「鳴噎南嶺三十八勇士」

△帝都キネマ—十七日より四日間、ジエームス・キャグニーの「大平洋攻防戰」岡田時彦、中野英治、入江たか子の「青春街」、杉山昌三九の「劍客商賣」

居住消息

▲神戸喜八郎氏　東京から中央通一七へ

▲吉田萬太郎氏　佐賀縣から八島通一ノ一四へ

轉居

▲高橋萬氏　祝町から梅ヶ枝町三ノ二六へ

▲丸山政美氏　同上

▲藤原康範氏　同上

吉凶禍福

▲宮田益雄氏(八島通二二)長女美紗子さん五日出生

九月十九日　舊八月廿二日　木曜　戊戌　大安　除　角宿

●一白の人　苦情事のみ起りて解決に一日を徒費すべし　乙と庚と辛が吉

●二黑の人　傍杖を受けて苦痛を嘗むべき日病厄亦注意　丙と午と丁が吉

●三碧の人　向上發展を期するは善けれど未だ機到らず　甲と辰と癸が吉

●四綠の人　他に打明け難き事にて煩悶苦慮多かるべし　乙と辰と癸が吉

●五黃の人　權威を以て他を壓倒せんとして擯斥せらる　午と丁と辛が吉

●六白の人　業務愈々展開して擴張の好期到來する吉日　未と癸と丑が吉

●七赤の人　一家一門の融和に滿ち名利益々行はるゝ日　庚と癸と丑が吉

●八白の人　温順忠直に身を處して伸展を圖すべき吉日　丁と辛と丑が吉

●九紫の人　智略を發揮して計畫進捗する日前途亦有望　乙と丙と丑とが吉

採鑛出願五日迄に 三千余に達す
本年中には五千件に上らん

待望の滿洲國鑛業法は去る一日より興安省を殘して全滿洲に施行され、各省鑛業監督署並に開發會社に鑛業權取得の出願書が内容證明郵便で殺到して居るが去る十五日までの實業部鑛務司への通知によれば一千四百三十九件に達し、鑛業法施行前に提出されて居つた出願書を合すれば三千余件の多きに上り今年中には尠くとも五千件に上る見込みで五日現在までの鑛政科並に開發會社別出願數は鑛政科九三九件開發會社四六七件である

中南米貿易 新市場開拓に 三團体より使節派遣

【東京國通】日本綿糸布中南米輸出組合、日本人絹織物輸出聯合會、日本雜貨中南米輸出組合聯合會は今回南米に於る日本の新市場を開拓し同地方諸國よりの輸出増加を圖る爲南米貿易調節使節を派遣するに決定來る廿六日横濱出帆の大洋丸にて山本(三井)三宅(三菱)菊地(野崎商會)三使節並に外務省より隨伴する公使館二等通譯官太儀見準雄氏をコロムビアエクアドルベネズエラ、ハイチ、ドミニカ(以上無條約國)諸國地方に派遣することに決定した、右使節一行はニューヨークを經由十月中南米に到着し、先づこれから諸國の對日要求を仔細に檢討し、對日本との關係を調整すると共に日本の輸出貿易增進を圖る筈である

全國有價證券 時價總額

【東京國通】東株取引所調査に依れば九月初め現在全國有價證券時價總額は

(單位百萬圓)

株式	一九、六三八
債券	一八、五三五
合計	三八、一七四

で前月に比し九億四千百萬圓に値上りを示し更に之を昭和六年十一月に比すれば百十三億餘圓の値上りである

間島發展座談會 日滿各機關の連絡を强化

【延吉支局發】從來兎角對立關係を生ずるものと懸念されてゐた在延吉日滿各機關間の渾然一體的融和の欠除は建設途上にある間島の將來に一沫の憂色を漂はすものと識者間に頗る憂慮されてゐたが本春日本領事館關係の移動により延吉分館長として田中繁三副領事を迎へる事により同氏はかつて百草溝分館長として間島に親しみのある點及當時の凡有態度等必ずや延吉の將來に迫力ある施政方針に出づるものと早くも巷間に至る迄同氏の力量手腕に期待する者多くその一擧手に對してすら衆目注視の狀態にあつたが果せる哉同氏は第一に日滿各機關の協力による合作の實につきその第一着手として警務機關首腦者の平素に於ける警務上の連絡に關し日滿軍警參事官等を領事公館に招請し座談會の形式による隔意なき協議會を開催し次いで十一日午後一時より更に警務機關外の在延日滿各機關首腦者の出席を招請して連協合作の基礎を鞏固ならしむる意味に於ける延吉發展の座談會を催し本格的に間島建設へのスタートをきつた、これに呼應して省公署吉村警務廳長は間島に於ける日滿各機關の連絡協調を充實ならしむる意味に於ける各首腦者の協力を誓約する協議書を作成し過般龍井間島總領事館に各首腦者の集合を見て調印を完了する等間島の建設に對する日滿各機關の渾然一體的色採はます〳〵濃厚となりつゝある

滿洲採金會社の 出願要項

滿洲採金會社は新鑛業法の發布とともに積極的に滿洲の採金事業に着手してゐるが何分にも廣範圍に亘る地域で到底會社のみではその目的を達成することが不可能なるため今回一般採鑛家並びに企業家の活動を喚起するため同社より左の如く出願要項を發表した

一、滿洲採金株式會社の事業區域内で採金事業を營まんとする向きは、鑛業法令に基き採鑛せんとする區域を明示し書留郵便を以て會社にその旨申出られたし

二、滿洲採金會社は前項による申出に基き鑛業權設定並びに租鑛權を設定するものとす、但し會社の都合により申出者に租鑛權を設定せざるときは之に相當の發見料を交付するものとす

三、前項による租鑛權の設定又は發見料の交付に關し特定の區域に對し同時申出ある時は文書發送の日時先なるものに優先權を認む

四、滿洲採金株式會社は申出に基き鑛業出願をなす場合申出人より出願についての實費を申受くるものとす

滿洲新米出廻 昨年より相場高

滿洲米の早種はぼつ〳〵出廻り始め、本月中旬から來月にかけて一齊に出廻るものと見られるが、新米走りの値段は各地とも昨年に比し著しく高値にある、新京では去る七日七千二百八十斤の出廻りがあつたが七圓といふ相場、安東でも七圓、撫順ではやゝ品質悪く六圓七、八十錢であつた

貯油義務延期 商工省聲明書を發表

【東京國通】石油業法後有貯油義務實施延期に關する勅令案は別項の如く十七日の閣議で決定したが右に就き商工省は當局談の形式で左の如き聲明書を發表した

石油業法の規定によれば十月一日より石油精製業者及び石油輸入業者は六ケ月の石油保有の義務を負ふ、而して我國現在の石油業界の情勢に鑑みる時は此儘に規定を勵行する事は妥當ならずと認めらるるを以て此際の措置として六ケ月保有義務の實施を明年六月末まで延期する事とした、此間に於て石油保有制度に關して適當なる措置を講じて石油保有義務の圓滑なる實施を期した次第である

ソ聯向け 人絹織物 商談成立す

【大阪國通】人絹糸の對ソヴイエト輸出商談により約五萬梱の大量契約が出來て居るがソヴイエト側では人絹織物に對しても註文を發して來たので人絹輸出業者は賣約を急いで居るが既に第一次分として三十萬反の賣約を終つた、而して第二次、第三次の引合ある模樣で關係方面も期待してゐる

銑鐵建値決定

【東京國通】日本製鐵と銑鐵共販會社では十七日銑鐵建値を左の如く決定した

一、鑄物用銑鐵は現行のキロトン當り四十七圓五十錢を据置く

一、製鋼用銑鐵は現行建値より五十錢引下げキロトン當り四十七圓五十錢とす

西川組獨立

今春來大阪橋本組と共營してゐたが今回同組を離れ獨立して斯業精進することになつた組主西川吉之助氏事務所市内老松町十一番地電話は六二九〇番である

ハーバード商會 滿洲進出計畫

アルフレッドハーバートデは今後の滿洲市場取引を重大視する結果種々積極策を講ずることになつたので之が爲本店支配人H・H・ピーツ・パトリック氏は石川支配人同道のもとに過日來二週間の豫定で渡滿中にあり大連、奉天、新京、ハルビンの市場觀察を終れば近く歸阪するが歸阪後現

伊エ兩國向け 日本でも保險料値上げ

【東京國通】伊エ兩國の戰局切迫によりロンドンでは兩國向け貨物に保險料値上げを行つたので日本保險業者も近く百圓につき[illegible]錢値上を行ふ模樣である

新京滿人商號考

(十二)

大馬路の巻 その一

筆者はやゝひやつこい風の日を大馬路をてくつた、もう仲秋節が過ぎたあとで、街は平常にかへつてゐる、とは言つても相變らずの雜閙であることは言ふまでもない、むかし長春の街はただこの一本の道であつたとさへ言はれてゐる大馬路だ、今でも郘から出る日本橋通りに續いて滿人經濟の大衆線を貫く大通りだ、文字通りの商買櫛比だ先づ路の西側の店を擧げて行くと―

×

△鹿鳴春

これは近頃出來た大きな飯館である、たぶん奉天にある店の支店であらうと思ふ、鹿鳴春とは字の構成、滿語による發音ともにいい名である、日本では昔から鹿の鳴く情景は專ら秋のものとして歌にも數多く詠まれてゐるが、筆者は支那に於ける來歴を知らない

×

△華北印刷社

これはモダンな商號、むろん建國以前の名稱を襲用してゐるものであらう

×

△孔雀百貨皮鞋店

これもモダンな名前だ、扱ふ商品が多分にモダン味を有してゐるのだから結構である

×

△東興西服呢絨莊

ひねくつて考へると西洋の服東洋に興ると言ふのだから商賣が繁昌すればまさにその通りで、その内には製品を西洋にまで輸出するやうなことにもならうか

×

△同順園

これは落ち着きのある商號だ小さなうどん屋である

×

△福隆號(銭莊)
△福興隆(食料品店)
△福春園(麵舖)

福の字の付いた三軒が並んでゐる、恐らく同一資本によるものであらうと思ふ、何れも福々しい良い商號である

土建ニュース

▲決定工事 ●新京特別市公署

▲新京交通公司自動車車庫並に修理工場增築工事

落札 三萬四千四百八十圓 宮本組

三六、八〇〇、〇〇	菊池組
三九、八〇〇、〇〇	鐵道工業
三三、四〇〇、〇〇	碇山組
四六、一四〇、〇〇	島川組
四八、九〇〇、〇〇	梅本組
三三、〇〇〇、〇〇	岳南組

▲東安屯堤防築造工事 落札 一萬二千四百九十五圓七十四錢 岡組

一四、一〇〇、〇〇	栗原組
一三、七五七、〇〇	鐵道工業
一三、九〇〇、〇〇	福井高梨組

●首都警察廳豫告工事

▲大經路警察署時計室修繕工事

●電業公司 近日入札

▲鞍山小野田セメント變電所新築工事
▲南嶺變電所增築工事
▲津山變電所新築工事
▲南關嶺變電所新築工事
▲新京城内變電所改築工事

入札期日 九月十九日十時

●滿鐵新京地方事務所

▲陶家屯浴場新築工事 單獨 二千四百三十五圓 久保田工務所

▲范家屯丙種社宅南向平家二戸建新築工事 單獨 六千六百六十八圓 久保田工務所

▲錦町第二號煖房改造に伴ふ給水工事 豫特 二百二十九圓七十五錢 同

▲高等女學校增築に伴ふ給水工事 豫特 二百二十二圓六十三錢 市瀨工務所

▲モルタル管製作第四期工事 豫特 六百十七圓三十錢 同

▲第六小學校新築に伴ふ給水工事 豫特 二百六十二圓六十二錢 同

▲新京醫院看護婦宿舍給水工事 豫特 五百五十四圓八十錢 市瀨工務所

▲新京關東軍倉庫支庫新築に伴ふ給水纖管連絡工事 單獨 一千二十五圓 市瀨工務所

▲新京驛構内改築に伴ふ通信移轉改築其他工事 單獨 一千七百八十二圓 市瀨工務所

▲新京三道溝一號井ポンプ室築造其他工事

落札 二千八百十圓 神谷工務所

二、三五二、〇〇	池内市川組
二、九六八、〇〇	市瀨工務所

▲四平街益濟寮汽罐室裝置改築工事外三件

落札 一千九百五十四圓三十九錢 順田商會

一、五八三、六〇 日滿放熱器

●國都建設局

▲安民大路以南治平街民榮街間第一區道路形築造工事

落札 七千八百九十七圓六十四錢 村松組

九、九一九、〇〇	多田工務所
九、四六〇、〇〇	京城阿川組
八、七六六、六〇	神谷工務所
八、五二一、〇	鐵道工業

●國都建設局

▲安達街側溝築造工事

落札 二千三百十八圓七十七錢 澁谷工務所

二、三八七、〇〇	昭和土木
二、五七〇、〇〇	京城阿川組
二、七三〇、〇〇	島川組
二、九八〇、〇〇	日滿土木

●需用處營繕科

▲百斯篤檢疫用建物新築工事

第一回最低 五三、四〇〇、〇〇 鐵道工業

五四、八五〇、〇〇	荒井組
五七、五〇〇、〇〇	吉川組
六八、八〇〇、〇〇	鈴木組
六〇、八〇〇、〇〇	山地工務所
一〇四、一〇〇、〇〇	草場組
一〇八、一〇〇、〇〇	高岡組

第二回最低 五三、四〇〇、〇〇 鐵道工事

五三、四七四、〇〇	荒井組
五三、一五〇、〇〇	鈴木組
五三、一〇〇、〇〇	吉川組
五三、八〇〇、〇〇	山地工務所

示談五萬一千八百圓 鐵道工業

▲延吉稅捐局廳舍其他新築工事

落札 一萬九千四百七十圓 京城土木

二一、五〇〇、〇〇	吉川組
三一、六五〇、〇〇	日滿土木
三三、四〇〇、〇〇	穎昌公司
三四、八〇〇、〇〇	眞部組
三六、八〇〇、〇〇	前田組

●需用處營繕科豫告工事

▲奉天賽馬場整備工事
▲新京中央電波管理局新築
▲哈爾濱賽馬場整備工事

入札期日 二十日十時

滿人事

治外法權の撤廢を前に控へて在滿各地の辯護士諸君によつて滿洲法曹協會が結成されようとしてゐる、ところがこれに對して關東州の辯護士會に不參加の意見だと聞いた、治外法權撤廢に關聯して在滿辯護士會の態度が輕率だつたといふのらしい▲言ふ意味はこれ迄の在滿邦人の既得權を重んぜよといふのらしいがそれに各地商工會議所などの行動にも現はれてゐる餘りに帝國主義的な―換言すれば資本家的な利害に立つた、日滿不可分關係を無視した言ひ草ではあるまいか、辯護士諸君の台所が事らこれら財閥で賄はれてゐるにしても不見識過ぎやう▲一說によると何でも東京で日滿法曹協會を造つた時われらに挨拶もしなかつたからだといふそれなら子供の喧嘩のやうなものでタアイもない話だ何れにしても在滿辯護士諸君は一路信ずる所を邁進したらいい▲「物言へば脣の邊寒し非常時風」

商況欄 (九月十八日前場)

海外經濟電報

倫敦銀塊	二九片一六分三
同 先限	二九片一六分五
紐育銀塊	六五仙八分三
孟買銀塊	六六留比六分三
米英爲替	四弗九三仙八分五
米日爲替	二九弗〇六仙

米支爲替	三八弗八七仙
スチール	四七弗二分一
アナコンダ	二一弗四分三
英日爲替	一志二片八分一
英支爲替	一七弗四分一
英米爲替	四弗九三仙八分三
印日爲替	七八留比八分一

▲米棉

現物 十月限	一〇仙八〇
十二月限	一〇仙四二
一月限	一〇仙四五
三月限	一〇仙五〇
五月限	一〇仙五五
七月限	一〇仙六四
	一〇仙六五

▲印棉

ブローチ	一九八留比
オームラ	一八〇留比
ベンゴール	一三五留比

▲市俄古小麥

九月限	九八仙八分一
十二月限	九九仙四分三
一月限	一仙二分一

▲カルカッタ麻袋

胄筋	二四留比八分三
鐵筋	二一留比四分一

金銀市況

●上海標金

昨引 八七三、七〇 / 本寄 八四四、五〇

●大連金鈔票

(以下數字細字のため一部判讀困難)

現物 出來高 一〇〇九〇 ●大連鈔票銀大洋 現物 二一、〇〇

●奉天國幣金票 現物 一〇〇、〇〇 ▲九月廿八日限 休會

●奉天國幣鈔票 現物 一二九、〇〇 ▲九月廿八日限 休會

●哈爾濱國幣金票 現物 一〇〇、〇〇 ▲九月廿七日限 一〇〇、〇〇 十月十二日限 一〇〇、〇〇

●安東國幣金票 現物 一〇〇、〇〇 ▲九月廿七日限 十月十三日限 不申

爲替相場

▲上海爲替 ▲日本向

第一回	賣買	一三三、五〇〇〇
第二回	賣買	一三三、七五〇〇
第三回	賣買	一三四、二五〇〇
第四回	賣買	一三四、〇〇〇〇

▲倫敦向

第一回	賣買	一志六片一六分二
第二回	賣買	一志六片一六分四
第三回	賣買	〃

▲紐育向

第一回	賣買	三八弗二分一
第二回	賣買	不變

▲大連爲替 ▲上海向

第三回賣買	〃
	九七、三〇 九六、〇〇
	九七、〇五 九六、五〇
	九六、八五
	九六、五〇

▲臺灣向

九八、〇〇	九六、七〇
九八、六〇	九七、〇〇
九七、二五	
九六、九五	

▲阪神日米爲替 第一回賣買 二八弗 九分 一六分二五

▲阪神日英爲替 第一回賣買 一志二片 三三分五

株式相場

▲大阪株式(短期)

寄 / 引

大新	九三、六〇
東新	一三八、〇〇
鐘新	一五五、八〇
日產	八五、〇〇

▲大連株式(短期)

寄 / 引

五品	一八、七〇
豆新	三三、九〇
錢鈔新	一九、九〇
東鐵新	一五七、四〇
滿新	六一、一〇
二產	三三、七〇
日新	八七、八〇
鐘新	一三八、〇〇

商品市況

▲大阪棉糸 / ▲大阪棉花 / ▲大阪人絹 / ▲神戸豆粕

(細字數字判讀困難)

特產市況

●大連大豆 ●同 豆粕 ●同 豆油 ●同 高粱 ●哈爾濱大豆 ●同 小麥

(細字數字判讀困難)

新京取引所は滿洲事變四周年記念日に付き休み

●錢鈔

國幣對金票	一〇〇〇〇
鈔票對金票	
國幣對鈔票	
現大洋對鈔票	一三六四〇〇

大正九年十月二十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞　朝刊

【本紙朝夕刊十二頁】

本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 郵税 一ヶ月拾五錢
廣告料金 普通一行壹圓五拾錢 特別一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯部專用三二二五 營業部專用三三〇〇

發行人 十河榮忠　編輯人 松本勇　印刷人 水越内之介

歐洲の風雲急

諸株一齊高に 株界人氣沸騰
さてこの景氣どこまで 眞つ直ぐ進むか

【東京國通】伊エ開戰必至、歐洲政局重大化の報で早くも大戰景氣を想起し船株、軍需工業株は勿論ボロ會社でも買つて損はない、こいつは一番株買の時とあつて氣の早い思惑通がワンサと買ひに出たのが昨今の兜町、堂島の沸騰景氣だ、去る三日の相場に比べて小半月の中に新東十一圓七十錢、船株が八圓三十錢、鐘紡九圓六十錢、日本電工新株十一圓八十錢、帝人が九圓五十錢、倉數績が六圓八十錢といふ値上りでその他雜株に至るまで買進まれて春先の筍のやうに悉く上向いてゐる、生糸と人絹の高いのも米國の好景氣といふ爲もあるが紛爭の中心イタリーが生糸と人絹では日本の敵、こいつが戰爭となれば日本の獨り舞臺だとの目算からだ、さてこの景氣どこまで續くかは直ぐにコースをとるか係つてそれは歐洲の風雲の動き方一つにあるがそれはともあれ此間に一稼ぎと昨今の取引所は熱氣にうかされた人達の血走つた眼、尖つた神經の交錯で物凄い許りだ

海運界色めく
遠洋運賃忽ち奔騰す

【東京國通】不振を極めた東洋を中心とする遠洋運賃は穀物出廻季節切迫と共に外國船の歐洲復歸の傾向が顯著となり運賃市場も恢復の徵を示し始めたところ歐洲方面の政情不安をも容れて暴騰の氣勢に轉じた、即ち十七日ロンドン發入電に依れば大連、歐洲間大豆運賃は二十五志と今春の底値十一志半方の暴騰を報じ又サイゴン、フランス間の米穀運賃も二十六志半と底値に比し五志半方の激騰振りで本邦海運界は色めきたつてゐる

新東つひに百五十六圓に
今春以來の最高値

【東京國通】新東は今朝の寄附百五十六圓に接近し此春以來の最高値を示した

東阿向け貨物 戰時保險か

【東京國通】伊エ紛爭激化から日本海上保險業者緊張の十七日着電によればロンドン建値は
一、スエズ經由歐洲向貨物に對しては五志六片
一、ケープタウン經由は二志
と吊上げられジブチ、エチオピア向けは全然建値立たず等事態の急迫を裏書するに至つた日本側當業者も近く引上げを行ふ事となり、エリトリア、ソマリランド向け貨物に對しては大体百圓に對し五十錢程度となる模樣で、尚事態の發展如何によつては愈々近く戰時保險施行の段取りとなる見込である

和協に乘出す
五人委員會の和協案成る・但し伊は一蹴せん

【ジュネーヴ十七日發國通】五人委員會は十七日午後の會議に於て和協案の内容を決定した、右試案はエチオピアに於る廣汎な經濟上政治上の權益を伊政府に附與する事を條件とするものと確聞する 而して右の正式條件の外に英佛兩國からエ國に隣接する自國植民地の部をエ國皇帝に割讓する代償としてエ國領土の一部を伊國に割讓する條件を提言し協議したる後正式和協試案と右の條件とを以て伊エ兩國說得に乘出す事となつたが英佛兩國植民地割讓案を和協試案の一部に取入れるか否かは未だ決定しては居ない、然し伊國代表が右條件を內諾せざる場合には右提言は撤回する方針と見られてゐる、從つて伊國代表の回答無き限り和協案の最終決定はない譯である然し伊政府の從來の言動に徵するも和協試案並に右領土割讓の條件を伊政府が受諾せぬ事は略々明瞭であり聯盟は未曾有の破局に直面する外なきものと見られて居る

英國地中艦隊 大擧コルフ島へ

【ジュネーヴ十七日發國通】イギリス海相モンセル氏は九月二十六日以後十月十五日までにイギリスの地中海艦隊の戰艦四隻、航空母艦二隻、巡洋艦八隻、驅逐艦等の補助艦四十五隻合計五十九隻がギリシヤ領海に到着してコルフ島ケファロニア島のアーゴストリ及びモレア半島のナバリーを訪問する旨正式發表した

伊太利政府 開戰說を否定

【ローマ發國通】伊太利政府は伊エ開戰說を正式に否定した

伊エ開戰說は虛報と判明

【ジュネーヴ十七日發國通】伊エ開戰說はスペイン代表へ入電あつたので各國代表は各現地特派員に調査せしめた所虛報と判明した

ギリシヤ 英國に加擔?

【アテネ十七日發國通】英艦隊が二十六日よりコルフ島ケファロニア島附近の海上でイタリー半島の東南部を包圍の形で大規模の演習をなすとの報に當地では、英伊海軍衝突の情勢を豫想して興奮狀態である、なほギリシヤの有力者は英、伊衝突の際英國に加勢しその代償とし英海軍の根據地保持を條件としてのイギリス領サイプラス島多島海のイタリー領スポラデス群島の回收を圖るべしとの意見を持つて居り、伊、エ紛爭を繞り合從連衡の議が起つてゐる

内閣調査局 專門委員決定
けふ發令される

【東京國通】内閣調査局專門委員は左の卅名に決定したので上奏御裁可を經て十九日發令されることとなつた

東大教授 澁澤元次郎
農林省農事試驗所長 安藤廣太郎
東大教授 土方成美
京大教授 潮見三郎
協調會專務理事 大島達次郎
元鐵道次官 久保田敬一
日本放送協會專務理事 小森七郎
合同電氣取締役理事 中西四郎
貴族院議員 大藏公望
讀賣新聞外報部長 高橋幽齋
東大教授 東畑誠一
日本製鐵取締役 松本健次郎
元滿鐵理事 十河信二
東京朝日新聞論說委員 前田多門
日本工業俱樂部理事 膳桂之助
全國購買組合聯合會長 千石興太郎
帝國農會幹事長 専務理事
報知新聞副社長 平田慶吉
日本銀行理事 寺田四郎
第一生命專務取締 堀越鐵藏
東洋經濟新報社 石坂泰三
專務主幹 石橋湛山
富山縣射水郡淺井村長 麻生正藏
埼玉縣入間郡金子村長
野村證券調査部長 市村高彦
伊藤忠商事社長 飯田清三
豐田自動織機製作所 伊藤忠兵衛
社長 豐田利三郎
社會大衆黨執行委員 河上丈太郎
橫濱正金銀行取締役 柏木秀茂
高橋經濟研究所長 高橋龜吉
法政大學教授 高木友三郎
安田信託庶務部長 中西次郎
日本經濟聯盟理事 高島誠一
三菱經濟研究所理事長 岡德治
慶應大學教授 向井鹿松
山崎研究所長 山崎清純
三井合名考查部長 福島喜三次
東京日日副主筆 阿部賢一
三和銀行取締役 下山元一
日本ペイント社長 小畑源之助

尚調査局では緊急を要する地方財政問題に就き調査官の專門委員の聯絡會議を開催の意向である

來る十一月に 海軍の定期大異動

【東京國通】海軍定期大異動は來る十一月十五日附發令される事となり十月下旬には海軍進級會議が開かれるが、軍事參議官加藤寛治大將は來る十一月二日を以て停年滿期に達するので勇退すると見られこれに伴ひ海軍上層部に相當廣範圍の異動が行はれる模樣である

八田副總裁は 滿鐵最高顧問
遂に就任を受諾す

【大連國通】滿鐵副總裁の更迭は十九日發表される事となつたが、新任大村副總裁の在任期は未定である、なほ松岡總裁が滿鐵事情に通曉せるを惜み滿鐵最高顧問として留まられたき旨懇請したに對し、八田氏も松岡總裁の懇望を容れて最高顧問の地位に就くこととなつた

空の日滿連絡
ダグラス機と愼機着く

日滿航空連絡の重要性に鑑み陸軍最初の試みである東京新京間二千五百キロ一日翔破のダグラス機は操縱の權威藤田大尉、副操縱士林曹長の操縱により十八日午後三時秋晴の新京飛行場に流線型の偉大なる機體を現はし無事着陸した(寫眞上はダグラス機と搭乘將兵、向つて左より藤田大尉、林曹長、坂下、木村、泉澤諸氏)東亞親善飛行の愼、坂田機は十八日午後三時無事新京飛行場に着陸した、飛行場には外交部大臣交通部大臣を始めとし朝鮮人民會等の花輪贈呈あり盛大なる歡迎を受けた(寫眞下は交通部大臣令孃李さんの花輪贈呈)

美濃部博士の起訴猶豫
明徵問題に對する政府の誠意疑ふ
陸軍は積極態度堅持

【東京國通】美濃部博士の起訴猶豫內定に對し陸軍當局は略々左の意向を有してゐる 政府が美濃部博士の著書の廢棄を行ふと共に告發を基礎として半年餘り取調べをなし、起訴は當然との印象を世人に對して與へながら最後に起訴猶豫と決定したのは國體問題に對する政府の誠意も疑はれる、よつて陸軍としては從來以上に右問題への政府の態度を監視し場合によつては陸相を通じ積極的に決意を表明するに至るやも知れぬ

心境を語る
―當の美濃部博士―

【東京國通】美濃部博士は十八日小石川の自邸で左の如く心境を語る

私が貴族院議員を拜辭しやうと決心したのは余程以前のことで前議會の終り頃から既に自分の進退を決したいと思つてゐた、私の學說が正しいか否かは別問題として兎も角も貴族院で私のなした演說が議員中一部の人々の反感を買ひ激しい言葉を以て私を非難するものがあり、私が引續き在職してゐる事は將來益々貴族院の空氣を混亂せしめる憂れがあるものと考へたので、貴族院の秩序の爲にも私は議員を退く事が妥當であらうと思つたのである、たゞ當時は私の學說の根本に對して世間の攻擊甚しく一方には起訴不起訴といふやうな問題も起つてゐたので、若し當時直に辭意を申出でれば私が自ら自分の學說の非なる事を認めたものであり、起訴を免かれる爲に公職を辭したものと解される事は必然であつて、それは私の學問的聲明を自ら放棄するものであり、一方私自身としては醜名を千歲に遺すものであり、私の著書が法律に觸れるとは夢にも思はぬが、若し檢察當局の意見として法律に背くと認められるならば潔く法の裁きを受け萬一有罪と決するならば甘んじて刑に服するのが私として當然採るべき態度であらうと思つたので、今日まで此決心を實行することを差控へてゐた次第である、然るに今回司法處分も不起訴に決したとの通知を受けたので愈よ豫ての決心を實行する時が來たものと考へて今日辭表を提出したのである、與々も申上げるがこれは私の學說を飜へすとか自分の著書の間違つてゐた事を認めるとかいふ問題ではなく、唯貴族院の今日の空氣に於て私が議員として職分を盡す事は甚だ困難となつた事を深く感じた爲に外ならない(寫眞は美濃部博士)

機關說への態度
司法部で表明
處分の理由を發表

【東京國通】司法當局は美濃部博士問題の重要性に鑑み一般國民に司法部は如何なる理由に基いて斯の如き處分をなしたかを諒解せしむるため檢察當局に於て談話の形式により其理由を公表する筈である 而して司法當局に於ても問題とされた天皇機關說は我が國體の本義に副はないものである事は既に意見の一致を見てゐるので、特にこの點を明瞭にし、最近の思想情勢が急激な變化を來してゐるに鑑み今後に於て斯の如き所說を爲すものがあれば斷乎として起訴する方針である旨をも明かにする事となつた

偶語

江部高女校長の地委立候補說傳はる本人はどうあらうと無理無體に押しつけて見やうといふのだから、教育團幹部諸クンの御執念振りにはまづ以て敬意を表す▼學校關係から代表者を送るの可否については過日本欄で述べて置いた通り豈この上なんぞ言はんやだが▼地方委員會の實際を知つて見ると聰明なわが江部先生なんぞ第一にイヤ氣をさすことゝ思ふが、といつて本人さまで色氣なしといふわけでなければ致し方もあるまい▼お嫁に行つたら是非とも主人公だけはせい〴〵名譽ある地方委員たらしめるやう、何分のお骨折りを、潜越乍ら父兄一同に代つてお願ひ申しておく?▼再び地委候補の顔觸れを拾つて見ると今のところ總勢廿六名が大体確定と見てよく、中に滿人候補四名を除けば殘るは二十二名▼無論これで落ちついたわけではない、まだいやうんと出てうんと落ちるにもつと出ないとも限らぬ、あと旬余もあるんだからほかがほんとうだらう▼既に邦人候補中泣いても笑つても最少限度二名の落選は必定だ、さてその貧乏クジを一体誰が引くか候補者諸君まづ〳〵足許から御用心なさいよ

人事・往來

▲清水豐太郎氏(中央銀行庶務課長)十八日午後發奉天へ
▲杉次長(鐵路總局)同來京

航空

▲片山光次氏(新京)ハルビンへ
▲阿部浩氏(滿洲航空會社東京支店長)同
▲藤田秀雄氏(東京)同
▲七黑貞雄氏(採金會社員)大黑河から
▲吉野荒治氏(ハルビン清水組)ハルビンへ
▲永田貞三氏(新京)大阪へ
▲加納利國氏(鞍山住友會社)奉天から
▲關良一氏(同)同

海軍經理部長 元松少將 ちかく來京

【大連國通】海軍經理部長元松直人少將は新京、ハルビンの海軍施設視察の爲井上健男少佐同伴十八日朝九時入港のうらる丸で來連し直ちに旅順に向つた、同少將は當地に二泊の上廿日北上新京、ハルビンに各々二三日滯在視察をなし後朝鮮經由歸國の豫定

社說　國家の敎化と神話　その満洲國での創造

一

軍事行動や政治行動と相並んで國家がなす行動の一つに敎化行動がある。社會の共存的關係に於ける協同の生活に於いて必らず有機的な統一が持たれてゐる。この統一は決して自然の放任狀態によつて保たれるものではなく、嚴重な統制によつて始めて可能なのである。故にかゝる統制は盲目的、或ひは迷信的とも考へられるほど絶對的な權威を持つてゐるが、實はその根本要求は社會的生產關係を有機的に統一するところにあつただから社會がその統制を支持するための意識を構成する方法―すなはち敎化であるが―はやはり社會的であつて、ちやうど個人の意識が自己の社會上の機能に應じて形作られるやうに一般の意識が當時の社會的生活機能の反映として構成されたのであつた。その幼稚な文化狀態の下に於いては、今日の精神病者や幼者やの心理狀態に於けるが如く、いろ〳〵の怪異的な意識形態を生み出したが、しかし根本的にはそれは生活機能を理解する一方法であつた。

二

神話はまさにこのやうな意識が社會的敎化として現はれたものに外ならなかつた。むろん、それは原始時代に限られた產物ではなく、かなり發達した社會に於いても引續き創作され來つたものである。社會的統制の意識の最初の現はれとしての神話は、殊に統一された意識を、その當時の統制意識に應じて構成したものであつたが、それは今日の劇や小說も社會統制に關する意識の具体的表現であると言ひ得る意味と同樣である。いはば、神話は最も統一された社會統制の下に於いてその意識の統一的形態として表現されてゐる點で、後の分裂された社會の創作が統制に對する分離的意識を表現してゐるのと異るのである。神話はこれを敎化の單純な形式と見ることが出來るが、この敎化は原始的な社會的統制の自然の產物として、これを「敎化」と稱し得るやうな積極的な作爲を伴ふことのない、後の民謠と同じやうな社會意識の集合的產物で、その作者は事實上自己意識を持たずまた作爲も認められなかつた。もとより今日保存されてゐる古代神話がすべてさういふ性質の社會的創作であると考へることは誤りであり、むしろ政治的產物が多いであらう。少くとも一定の政治狀態がその神話の性質を決定すると言へる。

三

いまわれらの言ひたいのは満洲國に於ける神話の創造である。この國の大衆の現在の文化的狀態を見、またこの國成立の特殊なる由來を考ふるとき、われらは敎化行動として神話の創造を取り上げることが效果的であらうと思ふ。

日満關係の「再認識に就て」　事變四周年を迎へて

陸軍省パンフレツト

一、満洲國發展の狀況

九月十八日を以て早くも満洲事變勃發満四年を迎へることになつた。

過去一箇年間を回顧するに満洲國に關しては、幾多重要なる事項が解決せられ、若しくは解決せられんとしつゝある。

即ち日満關係事項に在つては、皇國の對満關係の機構改革が斷行せられ、次いで、満洲國皇帝陛下御來訪の盛事が取り行はせられ、近くは日満經濟共同委員會が成立し、更に治外法權の撤廢並満鐵附屬地行政權の調整乃至移讓に關する廟議決定を見る等劃期的重大事項が逐次實現せらるゝに至つた。

又満洲國自體に於ては、地方制度を根本的に革正して舊來の宿弊一掃に努め、對外的には蘇聯邦より北満鐵道を接收し、北支政權との間に通車通郵、通關問題等を略々解決して事實上其の儼乎たる存在を示し、最近に伴ひ、著しく其の地位を安固ならしめることが出來た。此の如き狀況であるから曩に英國より派遣せられたバーンビー卿の報告にもあり、リツトン報告が根本的に覆へさるゝに至つたのも當然のことゝ謂ひ得るのである。

勿論満洲國は、其の建國工作に於て對內的にも對外的にも、尙ほ幾多の未解決問題を有してはゐるが、大體に於て主要事項の大綱は今や概ね其の軌道に乘つて着々健實なる發展を遂げつゝある。

二、眞の建國は今後に在り

倂しながら、満洲國自體の國內問題にせよ、我國の對満國策にせよ今後に取り殘された問題は決して尠くない。

元來、今日迄の満洲國の建國工作は大體に於て荒削りであつて、建國の爲の素描乃至は間口の經始を終了したに過ぎない。其の仕上げは今後に在るのである。今や同國は其の間口の擴大よりも奧行即ち內容の充實に重點を指向せねばならぬ時代となつた。眞の建國は是れからである。從つて深刻なる對満認識を以て其の將來を洞察し、満洲國の王道立國、日満一體の確立强化に、一段の拍車をかけねばならぬ必要を切實に感ぜられる次第である。

此處には、是れ等の外形的發展狀況の記述を省き、満洲事變の持つ眞の意義と對満國策を如何に遂行すべきかの根本問題に就て述べて見よう。

三、満洲事變の意義

満洲事變勃發の端緒は、支那軍閥の排日侮日に對する我が正當なる自衛權の發動に在つたが、熟々事變の全經過を回顧すれば、其の結果に於ては、歐米列强の覇道的世界政策に對する皇道宣布の聖業であり、歐米人本位の世界觀に對する道義的世界觀の確立であつた。

抑々歐米列强は所謂適者生存、弱肉强食の覇道的政策に依つて現在の世界的分野を定め、東亜に對しても亦同樣の政策を以つて臨み之が植民地化を企圖しつゝあつたのである。偶々皇軍の飛躍發展と大義に基く東亜政策とは彼等の覇道政策と相容れず、爲めに政治的にも經濟的にも我が進展阻止せんとして凡ゆる壓迫を加へ來つたことは、近世に於ける東亜の歷史を詳に檢討すれば思ひ半ばに過ぐるものがあるのである。即ち近世に於ける東洋史は歐米列强の支那大陸の植民地化と皇國に對する壓迫との歷史であり、此の如き情勢を以て推移せんか東洋は遂に永遠に歐米の桎梏に呻吟するの外なく、其の恒久平和の如き到底望むべくもない狀態に在つたのである。

然るに支那軍閥は玆に著目して將來を洞察するの明を欠ぎ、歐米に倚存遠交近攻の策によつて却つて自ら墓穴を掘るの愚を演じ、排日侮日の極を盡し、不幸遂に満洲事變の勃發を見るに至つたのである。

玆に於て皇國は自衛權の發動により禍根を除し、盟邦満洲國の生誕を援け、其の健全なる發展と之に伴ふ各種の情勢とにより、支那軍閥覺醒の端緒を開くに至つたことは東亜平和の爲め眞に慶賀に堪えない。

而して一方皇國の満洲事變處理並に之に伴ふ東亜情勢の變化は、覇道政策を堅持せんと欲する歐米列强の喜ばざる所であり事每に我國に對し壓迫を加へ今日に及んでゐる、今や東亜の安定勢力として、その平和確立に眷々たる皇國としては到底かゝる情勢を默視することは出來ない。玆に於て一方に於て満洲國の大成を援助し日満一體を强化しつゝ他方、覇道的世界政策を排除し、眞に公正なる基礎の上に全世界に互り共存共榮、機會均等の原則を確立し、全人類の幸福を齎すべき眞の平和を招來せんと念願しつゝあるものである。

之が爲め日満支三國の緊密完全なる提携は、絶對に必要であり日満兩國の一體化は實に其の礎石である。

満洲事變の持つ意義は實に此に在るのである。

四、對満國策の精神

満洲事變は以上の如き重大なる意義を有するものであるに從つて本事變を契機とし、王道樂土の建設を理想として生誕した満洲國に對する我が國策の基調は、權益獲得の覇道主義を排し、八一　宇の皇道精神に置くべきは論を俟たぬ所である。

又日満兩國一體化に關する萬般の施設は悉く此の一宇精神に則るべきものである。

彼の對満機構の改革と云ひ満洲國皇帝陛下の御來訪と云ひ、日満經濟共同委員會の成立と云ひ、皆此の一宇精神の上に立つことに於て意義があり、而して一宇精神に基き解決せられつゝあることに於て世界に新らしき指導原理を示してゐるものである。

皇國が曩きに満洲國に於ける治外法權の撤廢及附屬地行政權の調整乃至移讓を中外に宣明せる所以も實に此に在るのである。即ち満洲國の健全なる發達を遂げしむるは勿論眞に日満兩國民の融和を圖り兩國善隣不可分の關係を永遠に强固ならしめんとするに外ならないのである。

既に述べた如く、列强の過去に於ける對外政策は、多くは利己的の權益獲得を基調とするものであつて、斯かる政策の結果は帝國主義の激化となり、現在の如き弱肉强食の修羅場を現出し、各民族國家の間に不合理不公正なる狀態を招來し、延いては、この現狀を維持せんと欲する國と、之を打破せんと欲する國との深刻なる對立抗爭を發生するに至つたのである。

然るに我が肇國の理想は實に皇道に基く世界一宇化であり、四海同胞共存共榮の道義的精神の顯現である。此の精神を満洲國に及ぼし、同國をして皇國と不可分一體の關係を保持しつゝ、王道樂土を建設せしめ、相共に東亜の平和を確保し、大義を宇內に顯揚し延いて眞の世界平和を確立するに至らしむることが對満國策の基調である。

五、日満一體の强化

日満一體化は實に我が肇國の大理想たる世界一宇化の精神に發し、又之に範をとり順天安民、五族協和を以て建國の本義としてゐる満洲國建國の國是に基くものである。

而して日満一體化の大精神は實に、満洲國皇帝陛下の御訪日後直に渙發せられた勅語に於て明かにされてゐる。

即ち新興満洲國國民に繒ふ所を明示されたものであるが此の一德一心の心掛は單に満洲國人のみならず日本人にとつても亦同樣であつて、斯くしてこそ始めて兩國民衆の眞の融合が出來、兩國の眞の一體不可分關係が確立せられる譯である此の精神的融合を缺く場合に於ては所謂「佛作つて魂を作らざるもの」と言はねばならない。

六、結言

以上日満關係の再認識に就て述べたのであるが、要は國民が満洲事變の眞意義と對満國策の根本精神とを十分把握し、擧國一致、不退轉の決意を以て目的貫徹に向つて邁進することに在る。

今や時局の永續と共に、動もすれば國民精神に弛緩を來し、小成に安んぜんとするの風なしとしない。

満洲國は固より着々として健實なる發展を遂げつゝあるが、建國の大業は今漸く其の緒に就いたに過ぎない　其の大成は今後に在るのである。

又日満兩國を繞る國際情勢は決して樂觀を許さず、兩國の前途には幾多困難なる障碍の横はりあることを覺悟せねばならない。

一方支那は満洲事變を契機として歐米倚存の非を悟りつゝあるが如きも、眞に日支の全面的提携を實現し得る迄には其の前途尙ほ遼遠なるを思はしむるものがある。

倂し満洲國の健全なる發達と日満の完全なる一體化の實現とは、軈て道義的にも經濟的にも支那をして永く此の圈外に超然たることを許さず、自ら日満支提携の實現に迄進ましむべきものであつて、此の意味に於ても對満國策は實に絶大なる重要性を有するものと言はなければならぬ。

斯くて支那をして眞に東洋平和の大乘的見地より有無相通じ共存共榮の眞の大道に合流せしむることゝならば、東亜永遠の平和は此に始めて招來し得べく、列强亦皇道の本義を確認して其の覇道を抛棄し皇國と共に世界恒久平和確立への大道に精進するに至るであらう。

満洲國航空法　來年四、五月頃脫稿　大体日本に範を取る

満洲國に於ける航空の發達は著しく促進され國內に於ける航空網は漸く完成の域に達したが、政府では更に國內航空の圓満なる發達を期し一方満洲國領土が歐亜連絡交通の衝に位し當然外國航空機の通過國となるので軍事並に公安上から領空の保全を期し満洲國航空法を制定することになり目下交通部に於いて起草中であるが、大体日本の航空法に範をどり満洲の特殊事情を加味して作成されたもので來年四、五月頃には脫稿される模樣である

満洲事變　四周年を迎へて

關東軍司令官　南次郎

南關東軍司令官は十八日夜「満洲事變四周年を迎へて」と題し左の如き記念放送をなした

◇

満洲事變勃發満四周年記念日を迎ふるに當り、旭日昇天の勢を以て拓け行く満洲國の國都新京より、日本及満洲の各位に對し所感の一端を開陳するの機會を得たるは、誠に光榮とする所であります、申すまでも無く我が國に於ては満洲事變の勃發を契機として民心頓に緊張し、擧國一致我が建國以來の傳統的精神に立歸り、爾來満洲問題の爲には聯盟の脫退をも斷行し、道義日本の眞の姿を中外に具現すると共に、満洲國の建設並堅實なる發展の爲絶大なる協力と援助とを致し、爲に満洲國は治安に行政に經濟に將又交通に、汎有方面に亘り着々諸工作の進涉を見せてゐます。

×

私が昨冬聞外の重任を拜し満洲國翼贊の第一線に立ちてより、既に九ケ月を經過致しました―此間在満文武官民一致の協力援助と、満洲官民の信倚とにより、既定國策に邁進し、着々として満洲國の健全なる發達と、列國の正當なる對満認識の向上とを見つゝあるは無上の欣快とする所であります。

玆に最近一ケ年間に於ける満洲國進展の跡を顧るに、國內的には從來の宿弊たりし管制の一大改革を斷行し、以て地方行政機構の確立を致し、或は北満鐵道回收の大業を終りて、満洲國の獨立性を更に明にすると共に世界文化の進展を圖り、或は國幣制度統一の難業を完成して國內財政確立の基礎を作り、又一方國內治安の情況は日満軍警の間斷なき討伐と、之に伴ふ肅正工作とにより、日に日に良境に向ひつゝあるは國家の堅實なる進展を裏書するものとして同慶に堪へぬ次第であります

×

更に日満相互關係に就て申述べますれば、去る四月、皇帝陛下御訪日の歷史的盛儀ありて、建國以來我帝國の盡くせる絶大なる協力と支援とに酬ひらるる所があり、親しく我が皇室の殊遇と國民の熱誠なる歡迎とに接し、皇帝陛下には感激あらせられ、歸國後直に詔勅を渙發せられて、我が皇室と一德一心兩國不可分の關係を明徵にせられたる、國家統治の大方針を國民に垂れさせられたるは、眞に建國に次ぐの盛事であります。

近くは日満經濟共同委員會の成立を觀、日満經濟「ブロツク」の實現に一段の進展を促すに至り、更に治外法權の撤廢並満鐵附屬地行政權の調整乃至移讓に關しては我が大乘的見地により、去る八月九日廟議一決し中外に闡明する所がありました。

是偏に、満洲國の健全なる發達と日満不可分關係の强化を念願とする我が國策の具現にして、日満兩國の爲眞に慶賀に堪へない次第であります

×

翻て對外狀勢を觀るに、満洲國の嚴存と駸々たる發展は聯盟の不承認原則を超越して列强の大なる關心と注意とを引き、曩の「リツトン」報告を根底より覆滅し、歐米人の對満認識は日に日に正當化せられて行く樣であります。満洲國の嚴然たる存在と堅實且迅速なる發達とは、満洲國承認の氣運を列國に促進せしめつゝあるものと認められます。

×

更に満支間に於て通車、通郵、通關等各種重要問題の漸次解決を見つゝあるは、支那側が實質的に満洲國を承認しつゝある證左にして、之満洲國三千萬民衆の努力と、八一字の壤地招來を念願とする我が國民一致協力の然らしむる所にして、欣快の至りであります。

抑て叙上の如き有樣でありまして、満洲國は侄の間にありながら順調なる發展を遂げて來りましたが、何と申しましても未だ僅に其型體を整へたるに過ぎません、建設の大業は一朝一夕のよくする所に非ずして、聖業貫徹には前途尙幾多の難關が横たわつております、內容の充實、對外への進展等に關する幾多の大問題は、今後のものとして山積致して居ります、之が克服には満洲國國民自體の自覺と奮闘とに俟つは勿論なれ共、更に我が國朝野一致の支援如何なる難關をも突破して満洲國の健全なる發達保全を期せんとする、不退轉の決意を必要とする次第であります。

然るに今や所謂時局の緩和僅かに四年にして、民心漸く倦怠を覺へ、又治安次第に進みて匪賊の減少せるに伴ひ、動もすれば、満洲事變は既に了れりと思惟し、精神的緊張に弛緩を生したるに非ずやと思考せらるゝ點なきにあらざるは、誠に邦家の爲遺憾とする次第であります。

各地に殘存蠢動する匪賊は其數は減少せるも益々行動執拗惡性となれるを以て皇軍の辛勢は一層增大し、第一線に於ては現に不屈不撓の努力を傾注し、文字通り野に臥し山に寢ね、東奔西走席の溫る暇も無き有樣にて、關東軍のみにても戰傷死者の數、本年一月以來八月盡日迄に五百十六名の多きを算する狀況であります。

×

更に日満兩國を繞る國際情勢は、寸時も樂觀を許さざるものがあります特に北方蘇聯邦は尨大なる軍備を以て我に對し、國境に於ける不法行爲も百九十五回に及び「コミンテルン」の陰險巧妙なる満洲國擾亂工作に對しては、多大の困惑を感じあるのみならず其邊境方面に對する赤化工作も益々進展し、決して對岸の火災視するを許しませず。加ふるに西方支那の對日態度も未だ逆睹し難く、內外共に依然として非常時局に直面しております。

×

目下以上の情勢に鑑み、關東軍始め在満各機關は、獻身的努力を以て之が善處に專念致し、只其及ばざるを恐れて居る次第であります。吾々は此記念日を迎ふるに當り、更に新なる勇猛心を振起し、日満一體の確立强化によりて東洋平和の確乎たる基礎を建設すると共に、世界に向て雄叫したる我が道　的世界觀の正當性を實證し八　一字化に精進することを昭和日本の使命と信じ、御共鳴を得たいと存じます。

×

終りに臨みまして満蒙の人柱として本事變の犧牲となりし英靈に對し、崇敬感謝の至誠を致すと共に、之等將兵の遺族に對し深く哀悼の意を表し、且其繁榮と慶福とを熱願して已まざる次第であります。又事變勃發以來關東軍に寄せられたる全國民の熱烈なる御後援に對し此機會を利用し、深甚なる感謝の意を表し本講演を終ります。

商況欄（九月十六日後場）

金銀市況

●上海標金
前引　八〇三、七〇
後寄　休
歩　午後休會

●大連金鈔票
現物　寄付　一三九、六〇　引　一四〇、四〇　高　一四〇、五五　安　一三九、六〇　出來高　四〇〇万
▲九月二十八日限　寄付　一三九、九〇　歩　四〇、〇〇　四〇、一五　四〇、二〇　四〇、三五　四〇、五〇　四〇、三〇　四〇、四〇　四〇、三五　三九、六〇　三三五万
十月十三日限　出來不申

●大連鈔票鈔大洋
現物　一一〇、六〇　一一〇、三〇

●奉天國幣對金票
現物　一〇〇、〇〇　一〇〇、〇〇
▲九月廿二日限　寄付　休會

爲替相場

▲上海爲替

大連爲替

▲日本向（水曜日）
第一回　賣　一三三、五〇　買　一三四、〇〇
第二回　賣　買
第三回　賣　買　午後休會

▲倫敦向
第一回　賣　一志六片一六分一三　買　八分七
第二回　休會
第三回　賣　買

▲紐育向
第一回　賣　三八弗一六分一　買　一六分三
第二回　休會
第三回　賣　買

株式相場

▲上海　九六、二〇　九六、二五　九六、一五
▲鈔台　出來不申

▲大連株式（短期）

銘柄	寄	引
五品新	一八、五〇	—
豆新	二三、三〇	—
鈔新	一九、四〇	—
東新	一六、一〇	一六八、三〇
滿鐵新	二七、六〇	—
二新	五二、〇〇	—
日產	八〇、四〇	八八、〇〇

公示催告

大連市北大山通四番地
申立人　秋田商會木材株式會社
右法律上代理人取締役　秋富久太郎
新京住吉町九丁目二番地
秋田商會木材株式會社新京支店
右申立代理人　田代留藏

右申立人ハ左記表示ノ證書ニ付公示催告ノ申立ヲ爲シタルニヨリ其所持人ハ昭和十一年二月二十八日午前十時迄ニ當館ニ權利ヲ屆出テ且證書ヲ提出スヘシ若シ右期日迄ニ屆出及提出ヲ爲サヽルトキハ其無效ヲ宣言ス可シ

昭和十年八月二十七日
在新京日本帝國總領事館
領事　花輪三次郎

記

一、證書ノ種類　倉荷證券第一〇四一號
一、品名　白松角材
一、數量　四十五本
一、記號荷造　裸
一、保管場所　馬車部院內野積
一、保管期間　自昭和十年七月十日至同年十月十日
一、保險金額　金七百圓也
一、保險會社　帝國海上保險株式會社外四社
一、證券發行地　新京
一、發行年月日　昭和十年七月十一日
一、寄託者及最後ノ所持人　申立人

火線の下に決死！ 軍事郵便局の活躍

赫々たるその功績をこふ

【大連支社發】滿洲事變後四週年の記念日を迎へ、皇軍活躍の蔭に王道樂士建設の礎石の一として軍と苦樂を共にしてゐる野戰郵便局のあることを認めぬ譯には行くまい

常に軍の活躍に伴ひ通信業務に從ひつゝある軍事郵便機關は、日露戰爭當時施設されたものに端を發し爾來西比利亞、濟南、上海事件と星霜三十年の歷史を持し皇軍の活動と日本人の對外發展に重要な

役割

を演じつゝあるが、今滿洲事變後の軍事郵便機關の概要を見るに

今次の滿洲事變に於ては事變發生の特異性と軍事豫算その他の事情に因り從來の如く軍の編成と爲すことは急速實現の見込なく而も接壤地帶たる滿鐵附屬地に既設日本郵便機關の在る關係上取敢えず應急措置として郵便局吏員を派遣して變則的なる制度下に軍事郵便の取扱ひを開始した、當初從事員は判任官雇員傭員僅かに十四名に過ぎなかつたが其の後事變は滿洲全土に擴大し戰多の季節を迎え一層軍事郵便機關の擴充を必要とするに至り更に局員を全滿に於ける我軍の駐屯地に增派し本格的に軍事郵便の取扱を行ふことになり本年八月末現在に於ては合計百四十四名三十二ヶ所に上つてゐる狀態である

這時の軍事郵便開始當初に於ては南嶺、鄭家屯及巨流河の四ヶ所に開設の豫定だつたが我軍が洮昂線方面の馬占山討伐のため出動することになり軍事郵便局員も之に從て大與に向ひその後

江橋

に引返して同地に於て移動最初の軍事郵便取扱所を開設し爾來或は北滿に或は內蒙古に或は熱河に軍と行動を共にしつゝ今日に及べるが之等各地に於ては或は兵匪の重圍に陷り砲煙彈雨の中に勤務したもの或は敵襲をうけて兵士と共に銃を執り又は兵匪の夜襲に遭遇し負傷兵を局舍に收容して之が看護に當り便衣隊の放火に郵便物を護りたるもの或は北滿の水害に身を以て軍事郵便物を安全地帶に移したるなど非戰鬪員としての斯の如き行動は軍用通信の連絡に當り軍の作戰及之に基く各部隊の戰鬪所爲の完全なる遂行に大なる功績あるものと云はねばなるまい

軍事郵便機關によりて送達されたる一片の書信が如何に萬里を距つる皇軍將卒の士氣を鼓舞するかを想ふとき軍事郵便局從事員のこの功績は永遠に

記錄

さるべき事償である、

全滿軍事郵便取扱所の昭和九年度に於ける取扱數は

▲通常郵便
引受 四、九二六、六三一通
配達 六、五九〇、五三五通
開始以來の累計は
引受 一三、九六五、八〇九通
配達 一九、三二八、〇三六通
を示してゐる

▲小包郵便
引受 一一、〇八三個
配達 二八〇、三三四個
累計は
引受 二二八、五九八個
配達 六二三、九九一個
を示してゐる

▲爲替貯金
受入 [illegible]
拂出 [illegible]
開始以來の累計
受入 [illegible]
拂出 [illegible]
である

南滿

空の燈台出現！

奉天新京間十三ヶ所 安東奉天間は五ヶ所

第一期工事は十月末完成

【大連支社發】空の燈台建設に關しては豫て計畫中であつたがこの程滿洲航空會社に於ては第一期工事として奉天新京間十三ヶ所及奉天、安東間に五ヶ所の建設を決定、大連に於て鐵塔組立を急いでゐるが十月末までには全部の建設を終る見込である、之に用ふる光線にはネオンを使用しその色調によつて信號燈としても利用されるものと見られ地上二十米の暗空に光るネオンサインに導かれる航空機の航行は一層安全率を高める事となるべく、スピードアップされる日滿間の距離は漸時狹められて行くものと見られてゐる。

近時日滿兩國間の緊密なる關係は日增しに濃度を加へ來れる狀勢よりして東京新京間一日到着を期待されてゐる今日航空の安全辨としての燈台建設は交通上に又軍事上に裨益するところ多きものと見られ期待されてゐる（寫眞は鐵塔組立作業）

滿支直通車製作費 百三十九萬圓

滿鐵北寧鐵路間に調印完了

【大連國通】北寧鐵路局長殷同氏は十七日朝入港の長平丸で來連、直ちに大和ホテルに入り滿鐵宇佐美理事と會談約一時間の後晝食後再び會見したが右會見に於て同鐵路局と使用する二ヶ列車廿四輛の新造の製作を滿鐵に注文したもので、愈々同契約調印も午後の會見で完了した、直通旅客列車二ヶ列車廿四輛の製作費は百卅九萬圓で滿鐵では直ちに沙河口工場で製作に着手、來年九月迄に全部を完成北寧鐵路局に引渡すものである

列車製作は 沙河口工場で

【大連國通】殷同氏との會見後宇佐美滿鐵理事は語る 殷同氏との會見は直通列車二ヶ列車註文の調印の爲で滿鐵では直ちに沙河口工場で製作に着手するが來年の今頃までには出來やう、列車は何れも新式の流線型でスピードも相當出る立派なものである

大連郊外に 街燈新設

【大連支社發】新築家屋激增しグンぐ延びつゝある大連郊外は從來の照明設備では、保安、交通等の取締が危險なので、電業公司では老虎灘街道始め小崗子地方法院以南、星ケ浦等の住宅に百五十八ヶ燈を新設し尙ほ霞町滿鐵社宅街は從來他に比し燭光が低かつたので强力燈に改善することとなつた

奉天地方委員選擧 激戰を豫想さる

立候補遂に定員を突破

【奉天國通】奉天地方委員選擧も旬日の後に迫り愈々本格的に逐鹿戰は日一日と熾烈を加へつゝあるが現在立候補を表明せる者は既に定員二十名を突破し二十日過ぎまでには立候補斷念を表明せる鹽尻、佐伯現在副議長磯部、荒木氏等を除く現委員十五名並に新顏候補二十名內外の立候補を見るものと豫想され、定員二十名に對し三十五名といふ亂立を見るべく未曾有の激戰が期待されてゐる、尙滿人唯一の現委員附屬地商務會長李玉久氏の出馬も決定してゐる

東滿

課稅權移讓に關し 延吉邦人陳情

【延吉國通】治外法權撤廢の前提たる課稅權移讓に關し延吉內地人民會では、當路官廳に對し大要次の如く請願し現地の事情を充分考慮せられたき旨陳情することゝなつた

一、稅金負擔額を出來るだけ低率にし南滿と北滿は總ての點に於て相當間隔があることを考慮せられたい

一、稅金徵收について種々の問題が起つた際は日本官憲に於て解決すること

一、課稅率標準を決定するには滿洲國官廳にまかせず日本領事館より委員を參與させること

一、內地人小學校の子弟教育は內地人の手で行ふこと、同時にそれによる民金の負擔金も考慮されたし

一、營業稅率と地方稅雜捐の重複による負擔のため商家の營業並に一般經濟に不安をおよぼすことなき樣相當考慮されたし

現地情況を參酌し 積極方針樹立

防協吉林支部役員會決議

【吉林支局發】防空協會吉林支部に於ては本年度の事業計畫につき此程役員會を開ゐて協議の結果本部よりの指示と現地の情況とを參酌して左記の如き方針を立て實質方面に重きをおき前年度に於て不備だつた點を補充し防護團の指導要領に就ては各機關と密切なる連絡をとり積極的工作に邁進することゝなつた

一、防空智識の普及
二、防空並に非常災害防止
三、防空兵器、器材の獻納並に防空獻金の取扱
四、獻金募集

獻金募集に就ては滿洲國側にては商務會工務會を中心に日本側に於ては民會を中心に獻金募集委員會を組織する筈であるが、支部の募集金額豫定五萬圓の內昨年度の獻金五千圓があるのと、本年に入つて中銀より五千圓の申込みがあつたので一般よりの募集は殘額の四萬圓となる譯である

島川領事の 記念碑建設

小山氏の設計を採用

【吉林支局發】島川領事記念碑建設の件は屢報の通り寄附募集が順調に進み東京方面の報告は未着なれど大體の見當は附いたのと一方氣候の關係上起工を急ぐ必要もあるので在奉天の設計者小山氏の來吉を求めつゝあつたが、同氏が十六日に到着したので直に總領事官邸に於て委員會を開き協議の結果設計は同氏の携へ來れるものを採用するに決定敷地も民會橫運動場の名古屋旅館に隣接し大馬路に面せる一角を總領事館の許可を受け使用することに定め、工事入札資格者としては大內組、淺野組、倉地組、山田工務所、松浦組の五組を選拔し即時電話にて民會に代表者の參集を求め、設計者より圖面に就て詳細なる說明を與へたが、入札期は十九日午前九時民會にてなし即時開札豫算に最も近きものを採用することゝした

所澤○○機 無事哈市着

【ハルビン國通】所澤ハルビン間二千五百キロを翔破すべく今朝午前三時所澤を出發した所澤飛行學校機高木大尉の指揮する○○機三臺及立山大尉指揮の○○機二臺は途中太刀洗、平壤、奉天の三個所に着陸ガソリンの補給をなし、午後五時廿分見事な編隊陣形にて無事ハルビン飛行場に着陸した

尙辻大尉指揮の○○機三臺は性能の關係上到着遲延夜間飛行を續行して今夜到着するが一泊した上明日到着するか不明である

見事二千五百キロの翔破に成功した高木、立山兩大尉は交々語る

一機エンジンの調子悪く內地で引返へし他は豫定通り到着した、天候も頗る良く話しするやうな材料もない搭乘者一同も元氣旺盛だ

尙性能の關係上僚機に遲れてハルビンに向け飛行中の辻大尉の第○○三機は折柄の密雲を衝き飛來、午後六時四十分安着、先着機と並んで翼を休めた

興安東分省 莫力達瓦旗の「一般事情」（八）

商業

△商況

布西に於ける一般商況は蒙古民族の生業の中心を爲す林業狩獵による產品が一は資本の缺乏のため伐材不可能と他は海外に於ける皮革類の相場下落等を主因として極めて不振の狀態にある

乍然若し鐵道の敷設工事を見るに至れば現地購入材料費用相當下され之が直接、間接に一般住民の懷に入り購買力を增加せしめ一般市場活況を呈するに至らんと豫想せられてゐる

△移入（主要商品）

品名	數量
土布	二七八疋
粗細布	一三二疋
板頭貨	一三一疋
藥材	二、〇〇〇元
罐頭	三〇〇箇
餅果	一、四五〇斤
白酒	五、七〇〇斤
洋酒	一八七罐
糖	四、七〇〇斤
鹽	二四、一〇〇斤

而して之等一箇年に於ける取引額約五四〇〇〇元見當と推定せらる

△仕入地

品名	仕入地
土布、粗細布類	奉天
洋酒	チチハル
板頭貨	四平街
鹽	訥河
糖	ハルビン
藥材	營口
餅果	チチハル

△商業 公和昌源記、祥和順、同義和、志誠功、義慶公德記、義增德、天增長、開發和、天慶永、榮泰興、福和祥

△布西に於ける營業種別戸數

商店別	數	商店別	數
雜貨店	二	燒鍋	三
醫藥舖	七	麻舖	一
菓子舖	一	銀貨舖	一
吹提舖	一	理髮店	一
小舖	五	鐵鍋	一
糧米	一	客店	一
菓舖	四	油房	二
床子	一	酒類商	一
成衣舖	二	藥店	二
洋鐵舖	二	銀匠舖	一
鐵爐	一	車店	一
飯館	四	花店	二

△商業機關

布西商務會、會長一名、副會長一名、特別董事二名、董事二名により商業者相互に於ける親睦と斯業の向上發展に盡力してゐる

工業

工業と稱し得るものは布西に醸造業一、油房二を有するに過ぎない、從つて其の投下資本の總計僅に二、七〇〇元の窮弱幼稚にして論ずるに足らない狀態である、福興源（燒鍋）、東興厚（油房）、大成貞（油戶）然して之等原料は總て嫩江、努敏川流域の好適地よりの產出農產物を其の原料とし製造品は殆ど例外なく本旗內に於て消費さるを常としてゐる

△金融

布西には別に金融機關は全々無く從つて預金借入、送金等の場合は不動產に投資するか個人借入を爲すか或は現送或は訥河より其の他に於ける機關を利用送金するよりの外に方法を有しない

△通貨

國幣、金票以外の流通貨幣なし蒙古人間には物々交換により相互の交易による代金の支拂を行ふ事實奥地に相當見受けらると稱ぜらるるも一般に貨幣の使用普及してゐる樣に見受けられる

家庭

恐るべき狂犬！ 野犬の徹底的驅除と その豫防方法

醫學博士 羽生秀吉

野犬の驅除が完全に行はれ蓄犬に予防接種がもれなく實行された曉には狂犬の危害は絶滅する筈である。

然し乍ら當市の現狀に於ては遺憾乍ら野犬を完全に驅除する事は不可能な事情にある。從つて吾々は健康犬と病犬との識別が出來る常識を持ち常に狂犬からの危害に對して注意を拂はねばならぬと思ふ。犬の狂犬病に就て說明を加へやう。

犬が狂犬病毒感染を受けると主として中樞神經が犯かされる（是は人間の場合も同樣である）從つて

病毒 は胸脊髓に極めて多量に含まれて居るが、唾液中にも同樣多量に存在して咬傷による傳染の原因をなして居る、犬が病毒の感染を受けて發病する迄の潜伏期は三乃至六週間位で此の期間には病症としては何等の變化を認める事は出來ぬのであるが而も病毒は他に傳播し得るのである、この潜伏期の後愈々發病するのであるが、其の初期の症狀としては食欲が不振となり、不安狀態を示し興奮し易く木片等の異物を食ふようになる、この狀態が一兩日續くと愈々躁狂狀態になつて表情も

狂惡 となり、時に一直線に狂奔するとか或は常と異つた聲で吠えるとか、觸れるものには何でも咬みつくと云ふ樣になるこの時期が最も危險であるこの時期は大體四五日で麻痺の狀態に陷るものである

この時期は二、三日位で四肢が麻痺するために步行が困難となり口を開いて涎を垂す、終に瘦せおとろへて死ぬるものである

但し以上の症狀の觀察は極めて困難な場合がある、例へば健康犬にしても周圍の環境によつて狂犬と思はれる樣な

表情 をして居るものもあり、又性質狂暴性を持つて居つて盛に咬みつく犬もあり加之狂犬にしても發病初期には著明な症狀が現はれぬからである。

故に不幸にして犬の咬傷を受けた場合は、狂犬と否とに關せず先づ第一に傷口を消毒藥（何でもよろしい）でよく洗滌して病毒を除く事が必要である、（醫師の加療によるべし）又野犬なれば是を捕獲し蓄犬なれば所有者を確め警察に屆出をして、病犬か否かの診斷に供する事を忘れてはならぬと

同時 に豫防注射の治療を受けねばならぬ。豫防注射以外に完全な治療法がないからである、幸にして豫防注射の中ばに狂犬に非ずと云ふ診斷が判然すれば注射を中止して宜敷く、不幸狂犬病なれば續いて注射を完了せねばならぬ。而も十八日乃至二十一日の間每日連續して注射を受ける事を覺悟せねばならぬ（病犬の診斷は一週間以內に決定するものである）

熱いお湯は――美容の大敵です！――御婦人の入浴法――

湯に入つて全身が溫まつたとき、コールドクリーム、または蜂密を、顏から襟、手と順につけ、乾いたところでマッサージをするのですそしてあとは綺麗に拭きとつて石鹼や洗粉で、ざつと洗ひます、湯から上つたらお顏を冷水で洗ひ、體も冷水で拭つたタイルで、お拭きくださいお湯は皮膚をゆるませますから、お湯から上つたままにしておきますと早く皺がよつたりして皮膚が衰へますその點からも熱い湯は美容の敵です、ほんたうに美容に注意する人は入浴のときでも顏だけは水で洗ふくらゐです

◇……◇

寫眞 全滿各地代表少年諸君よりなる皇軍將兵慰問團は去る十五日新京衛戍病院を訪問傷病の兵士達を慰問した（上）滿洲國々防婦女會々長張國務總理夫人は十四日午後三時よりヤマトホテルにおいて滿洲建國三周年を記念して日本側婦人團體聯盟代表川村領事夫人に感謝狀を贈つた（下）

家庭メモ

◇茄子を丸揚げにするコツ 茄子の丸揚げは美味しいものですが、そのままでは、芯まで揚る中に皮の色が惡くなつてしまひます。金串でぶつりつきさして、孔をあけて揚げるのがコツ。

◇味加減の見方 味はその人々の嗜好にもよりますし、醬油やその他の調味料の種類によつてかなり違ひますから、なか〳〵分量を一定することは困難です。結局は舌で味つて見るのが一番たしかです。見方はありま熟くも判りまん又余り澤山でも本當の味は判るものではありませんもう一つ大切な事はつづいて幾つかの味を見る時は必ず一度々々に口をすすぐことです。

今日の獻立

（朝）▲味噌汁＝中身は豆腐と春菊

（晝）▲野菜の煎り煮＝人參や蓮根集めて適宜に切り。胡麻油でいため醬油と砂糖、鰹節で、から〳〵に甘からに煮つけます。

（晩）▲豚のつけ燒き＝豚の切身を醬油に生姜の搾り汁を加へた中に三十分ほどつけて浸け汁を二三回はきつけながら金網でやき上げます附合せの茗荷の子はさつと茹でて酢に輕く浸します。

人相と手相を語る ―（K）―

森田英道

國務院總務廳主計處長 **松田令輔氏**

異色ある人物として待望せらるゝ氏は、明治三十三年山口縣に生れ、大正十二年東京帝大法學部英法科を出で大藏省を振り出しに、廣島橫濱等の稅務署長を經て昭和三年大藏事務官に轉じ、同年滿洲國建國と同時に國務院總務廳主計處長に就任して以來、裁斷流るゝが如く大局に立脚して縱橫の手腕を振ひ、怪刀亂麻の如き才幹を發揮する實際的な才略と手腕に少壯有爲の人物として將來如何なる方面に頭角を現して行くかと多分の期待を懸けらるゝ人である。

額 は、理想や思索に走らぬ實際的推理判斷思考力に優れ萬事に合理的實際を要望し、批判と理論に長ずる事を示してゐる。

眉骨 の隆起は、明敏々感なる觀察的智覺に富み、大局と要領と核心を摑み機敏迅速決斷斷行、剛毅不屈の自信力と萬事直截簡明にテキパキと處理して行く實際家としての非凡なる才略手腕を表示してゐる。

顴骨と腮骨 の發達は健康に優れ精力絕倫、意志力強く信念に向つては斷じて所信を遂行貫徹する氣慨と信念氣に燃え、難關障害反對を克服する毅然たる征服的精神氣力に富み、自巳の主義主張計畫方針には全力を懸けて當る氣迫と不動の信念に生る人物である。霸氣と野心に燃え雄心勃々として積極進取の氣象に富み、守成より創業、改革開拓、建設的である。半面義侠心に富み友情に厚く涙もろく純情と至誠に感激し易く、自巳を信じ已に從ふ者の爲めには獻身的努力と盡力をおしまぬ統領的ひらめきを有し、支配統率的手腕に優れてゐる激發的爆發性をも潜む、年と共に婉曲な世才と淸濁併合、寬仁大度の容包力と禪味の境が生るれば、將來非凡の榮達が訪づれ、手相四十三才頃の運命線の二叉線と、太陽線は同年より大人物の拔擢と意外の榮達的幸運を摑み、地位と權力と富を得、顯職に登り事業政治兩方面に頭角を表す人である。

けふの番組

（M・T・O・Y 新京放送局）十九日（木曜）

（朝）
- 六、〇〇 建國體操（滿語）
- 六、一五 ラヂオ體操（大連）
- 引續き 入港船の御知らせ（大連）
- 六、三〇 中等滿語講座（大連） 講師 秩父固太郎
- 七、〇〇 中等日語講座（奉天） 講師 近藤喜助
- 七、二〇 天氣豫報（大連）
- 引續き 朝の音樂（大連）
- 八、三〇 經濟市況（東京）
- 九、〇〇 音樂（レコード）
- 九、二〇 料理獻立（大連）
- 九、四〇 經濟市況（大連）
- 一〇、〇〇 婦人家庭講座 酒客のもてなし方 赤塚久子
- 一〇、二〇 經濟市況（大連）
- 一〇、四〇 經濟市況（東京）

（晝）
- 一〇、五九 時報（東京）
- 一一、〇一 經濟市況（東京及大連）
- 一一、四〇 ニュース（東京・引續き新京）
- 〇、〇二 經濟市況（大連・引續き新京）
- 〇、二〇 晝の演藝（滿語）
- 〇、四〇 建國體操（滿語）
- 一、〇〇 演藝（滿語） 日蓮僧救母 大鼓 荷花 絃子 于茂林 二胡 遲松蘇
- 一、二〇 ニュース（滿語）
- 二、〇〇 經濟市況（大連）
- 引續き 日用品値段（滿語）
- 二、二〇 成人講座（哈爾濱） 音樂常識（二） 第一女子兩級中學敎師 劉性誠
- 二、四〇 演藝（レコード）（滿語）
- 二、五〇 經濟市況（東京）
- 三、〇〇 ニュース（東京）
- 三、三〇 經濟市況（大連・引續き新京）
- 三、五〇 ニュース
- 四、三〇 ニュース（鮮語）
- 四、四〇 演藝（鮮語）
- 四、五〇 ニュース（英語）
- 五、〇〇 子供の時間 折田妙子 お話「まめまめの豆ピョン吉」

（夜）
- 六、〇〇 ニュース（東京）
- 六、二〇 氣象通報・番組豫告（滿語）
- 六、二五 政府公報
- 六、三〇 講演 見て來た北支那 新京日々新聞社 山口愼一
- 七、〇〇 ラヂオドラマ（大阪） 上高地抄 番匠谷英一作 岡田嘉子 葵令子 外
- 八、一〇 舞踏音樂（第三夜）（大阪） ＝桃谷演奏所より中繼＝ …第十九世紀後半よりジャズ發生まで… 吹奏樂 大阪吹奏樂團 指揮並編曲 菅原明朗
  - 一、ポルカ シュトラウス作曲
  - 二、カドリール テルハム作曲
  - 三、ツーステップ ファーア作曲 輕歌劇「富限娘」より
  - 四、ワンステップ ボーツフオード作曲 チエサピーク灣を行く
  - 五、ラクタイム ウエンリッヒ作曲 紅の薔薇
- 八、三〇 時報・ニュース（東京）
- 引續き ニュース
- 八、四五 ニュース・經濟市況 氣象通報・番組豫告（滿語）
- 九、〇〇 舊劇 瑞祥京劇社演員 曹福升 仙唱 楊寶恒 李金方 外六名 場面 黨玉麟 外九名
- 一〇、〇〇 北滿の時間（哈爾濱）（露語）
  - 一、講演「十字路に於て」 ヴラーソフ
  - 二、詩朗讀
  - 三、ニュース

子供の時間 〝まめ〳〵豆のピョン吉〟（お話）

後五・〇〇新京 折田妙子

ある山の奥の方に太郎作爺さんと云ふお腰の曲つた白かのお爺さんが一人ぼつちで住んで居ました。秋晴の或日お爺さんが畑に行つて一生懸命に大根を拔いて居りますと、何處かでお爺さんを呼ぶ聲がします、お爺さんはお腰をのばしながら、あちらこちらを探しました、すると畠のすみの方のキャベツの中に可愛らしい兎さんが一匹居りました。

◇……◇

兎さんとお爺さんはそれから後大變仲良になりました兎さんはお爺さんからマメ〳〵豆のピョン吉と言ふお名前までつけてもらひました。其れから幾日か過ぎた或日の事兎さんとお爺さんはお城のタッタ一人のお孃樣が病氣で苦しんで居らつしやるといふ話しを通りがかりの鹽さん達からきゝました、そこで兎さんはどうしてもお孃樣の御病氣をなをして上げたいと思ひお藥をもつているといふ恐ろしい古狸の所に出掛けました

◇……◇

やつとの事で古狸のお腹の中からお藥を取り出して來てお孃樣におのませしました。今迄どんなお醫者樣にみていたゞいてもどんなお藥をのんでもなほらなかつたお孃樣のお病氣が、それから間もなくなほり大變お喜びになられました。それからは兎さんとお城のお孃樣は大の仲良しになりました。

×講××演× 見て來た北支

本社編輯局 山口愼一

（後六・三〇新京）

本社編輯局論說委員山口愼一

君は大正十四年長春商業學校を卒業、昭和四年東亞同文書院を卒業、それより滿鐵に入り情報課、總務部庶務課、經濟調查會、資料課に歷任、昭和八年依願辭職、本年二月本社に入社した、支那問題研究の新進として知られ譯著書に「支那問題研究資料」第一輯及び第二輯がある、「滿洲評論」の同人であり滿洲國協和會囑託を兼ねてゐる、なほ大內隆雄のペンネームを以つて長春時代より文藝方面の活動を續けてゐる。

文藝

雜感

室町校高二　益田日出子

匂ひ

春には春の匂ひ、秋には秋の匂ひと、四季それ〴〵に違つた匂ひがある綠が萠え出して來た頃のむつとする位の春の匂ひ暑い〳〵夏の日に照らされて焦げてしまつたかのやうな土とほこりの香、秋には秋で散り敷いた病葉の上の雨か降りそそいでかびくさいと云ひませうか、つく〴〵秋の佗しさと云つたやうなものを感じさせる匂ひ、多の凍つた雪の上を轉び廻つてゐるあの煙煙の鼻が痛くなるやうな匂ひこんな匂ひを感じるのは人々に依て違ひませうけれど。

せまい裏通を何心なく歩いて行くと、丁度御飯時なのでせう煮物や燒魚等の匂ひがほの〴〵と流れて來る時、ふと遠い幼い時の事どもがちらと頭をかすめて行きます。それは本當に刹那的なものですけど幼時を思ひ浮べるのには充分だと思はれますあんな事がと思はれるやうな、とうに忘れてしまつても良いやうな何でもない事が、たまらなくなつかしく胸に浮んで來るものですふと流れて來る匂ひ、又はしみ〴〵と香る花の匂ひ、どれをかいでも一つとして想ひ出をともなはないものはありません。匂ひと共に過ぎ去つた幼い時の有樣を次から次へと思ひ浮べては一人でほほえみたくなつてしまひます。

音樂

それと同じやうに音樂も共に想ひ出をともなひます。知らない他人が自分と同じ歌を知つてゐるのは何でもありませんけれど、覺える時は何所でどんな風にして尋ねて見ると、きつと違つてゐるものです。同じ子守歌でも、同じアリアでも、或人は小さい時からききなれてゐたし、或人は最近覺えたばかりだと云ふやうに決して同じ時に知つたのではありませんから、從つてそれ〴〵違つた想ひ出を持つてゐるわけです。かりに私と今一人の人がレコードをかけて靜かに聽いてゐるとしてみます私はそれを一度きいた事がありますので、その初めてきいた頃の私の生活を色々と胸の中に繰りひろげてじつと見つめてゐるとします。今一人の人はその音樂は初めてきいたのでしたから新しい想ひ出を一つ作りつゝあることになります。音樂をきいてどんな風に感じるかはその人々の自由でありませうけれど、私には本當に私の生活から音樂をもぎとられてしまつたら、忽ちかさ〳〵とした性格になつてしまふ。だらうと思はれますふんだんにある本の中に埋つて、そしてよりよい音樂にかこまれて生活が出來たなら、私にはこれ以上の素晴らしい幸福はないと思ひます。

新京ラヂオ・ドラマ研究會　放送用脚本

秋櫻〔三景〕（禁無斷上演轉載）

近東綺十郎

—下—

第三△

槇の葬儀が濟んだ日、保科貞江、理津子

——ほんとに今度は、保科さんに色々御世話をかけまして有難う御座いました、有難う理津子さんも、何から何まで御心配をかけて、どうも大變でしたのね

——まあどうやら滯りなく葬式も濟ましたので肩の荷がおりました、愚痴のようだが、これが看病ならと熟々思ひましたよ、折角持ち直しかけたのがとうとう、駄目でしたね

——でも、お二人に何から何までして戴いて、龍ちやんも嘸嬉しかつたらうと思ひますわ

——まあ、奇禍で死んだから心が殘りますが、それも或ひは、天から與へられた壽命だつたのかも知れませんのですわ。あゝまで慕つてくれるものを、何故無理に行つてしまつたのかと思ひますわ。妾がゐたら、こんなことにはならなかつたんでせうに、さぞ妾を冷酷な姉だと恨んで逝つたでせうでも生きてゐるうちに一目でも逢へたのがせめてもの心やりでしたわ。丹毒さへなければ立派に助かつたのにねえ

——恨むなんてことはありませんよ。槇はあなたを愛してはゐたが、たとへあなたが奉天に行かれたと言つて恨むなんて氣持は持つてゐなかつた

——あの夜ですのよ。十時頃床についたんですけど、夜紅茶を戴いた故か却々眠れないのです。窓に立つて讀りしなに見るともなく外を見ると、霧の濃い夜でね、ヒヨイと見ると霧の濃淡の中に龍ちやんが立つてゐる龍ちやありませんか、[illegible]坊主なんですの、何だかゾッとしてね、床に入つてから胸が落着かずに不安で仕方がないんです。明日早速手紙を書いて見ようと思つて漸くウトウトした所にあの電報だつたんですの

——そうすると僕が一番近くにゐて、一番迂濶だつたんですね、そんなことは考へたこともないし、何なのに……例の相良があの夜やつて來、理津子さんが來られて、槇は自殺しやしまいかと二人共言はれるのです。そんな馬鹿なことがと打消してゐた最悪の場合が、現はれたのです

——あの夜もお姉様からの手紙を大切にポケットに入れてゐらつしやつたのよ、でも亡くなる時なぞ本當に安らかな顔をしてね

——全く安らかな顔をしてゐたね。死をみること歸るが如しつて言ふけど、全く永遠の我家へ歸る人の安らかさだつた。愛してゐる人たちに手をとられて逝つたのだから、せめても嬉しかつたのでせうよ

——あんな寂しがりやはなかつたものね。此の頃はよくなつたけど—滿洲に來た當座はまるで女の子のように含羞んで、亡くなつた主人か出張した夜なぞ却々眠れない位で、困つた坊やだと笑つたものだつたけど、……それももう思ひ出の種だわ

——しかし、一人ぼつちの寂しさに別れて父母や大好きな兄さんの所へ行くのだから嬉しかつたかも知れませんよ。孤獨とか寂しさとかのない天國で、案外安氣に坊ちやんらしい我儘を言つて甘えてるかも知れない。ああゝ、とにかく一切は終つたのだ。もう何事も批判したり、愚痴を言つたつて仕方がないよ、ねえ理津子さん、新らしい氣持で元氣を出して下さいよ。澄み切つた今日の空のように、晴れた今夜の空のような天國にゐる槇を慰めるため、地上の僕たちは元氣に朗かに、仲よく暮して行きませうよ。槇の一家の供養は親戚の僕がやつて行きます。これからも時々槇を慰める意味で理津子さんも、時々遊びに來て下さい

——ほんとに好いお天氣ねえ

——青く澄んだ空を見ると、槇の余りに美しかつた生涯を思ひ出しますよ

——純な、少女のような魂の持ち主でしたわ

——ごらんなさい。お向ひの庭にあんなに綺麗な秋櫻が咲いてゐること……龍ちやんは女みたいに草花が好きで、一人で色々の花を植えて樂しみにしてゐたけど

——本當に秋櫻の花のように純な人だつたわ一つ明日は秋櫻でも買つて來て、供へて上げませうよ。きつと喜ぶわ

（夕空晴れてのレコード）

——それはいいわ。龍ちやんきつと喜んでよ

——うーん、秋櫻はいいなあ槇の人生も秋櫻のような人生であつたような氣がするよ

（レコードの中に幕）

指揮者の言葉——それから一年後の秋。昨年と同じく美しく晴れ秋のとある日の午後、神社を出て街を駛る結婚自動車があつた。華麗な自動車の中にはモーニング姿の保科と、行人を振りかへらせた美しい花嫁理津子が幸福に輝く人生門出を祝はれ乍ら靜かに乘つてゐた

何を思つたのか、貞江は未だに結婚を肯んじなかつた北滿の秋深く、空は深にと澄んでゐた。（完）

學藝だより

▲石川雅章氏　生田蝶介氏主寄の短歌雜誌『吾妹』の同人である同氏は天勝文藝部長として來京、本社を訪れたが廿日頃まで大和新館に滯在する

創作　愛憎記（六）

今村榮治

七週間の間のむつは健三との關係を忘れてゐるふうだつた。朝夕、佛壇に花を供へ線香を立て、その前に端座して拜むことを忘れないのである貞節な未亡人の姿がみえた。健三は兄が生前鈴蘭の花が好きだつたことを憶えてゐるので街を歩くたんびに買つてきて佛に供へるのだが、そのくせ心では兄は未だこの世に生きてゐるやうな錯覺に落ちるのだつた。

これはいゝ心の現象だと思つた。兄の顔を頭の眞ん中に置き、むつに對して嫂といふ觀念を持ちつゞけやうといふのだ。あれは一寸した間違ひなのだ、あんな事件はこのまま忘れて了はなければならないだが健三はあの事件は忘れ得るところの出來ないことである、いくら忘れたつもりでゐても、一度經驗したことは折に觸れて餌をみつけた蛇のやうに頭を擡げる。ぼつちやりしたむつの、湯上りなどの水々しい肌の色が視線のはづれにでも飛びだしたりすると、何時かの快感が思ひ出されて來、健三は全身に渦卷く情慾が激しい速度で走り廻るのを感じる。だが、再び越えてはならないと自分に構えてみせ、頭を擡げた動物性を握り殺すのである。

四十九日の法要があつたあくる日、健三は鈴蘭の花を持つて佛壇のある部屋へ入つた小供を寢かせてそのまゝだらう、佛壇の前にねてゐる小供の傍でむつは兩手を胸のところに組んで仰向になつてゐたそして健三をみると横向になり兩手をそつと持つて行つて顔をかくした。最初の恰好から察してどうやら淫な感じを起してゐたのであらうが、夫を思ひ出して泣いてゐた、と健三は思ひたかつた。寧ろそれは健三自身を恐れたがためでもあるのだが、佛の前にちやんと坐り脚痛をさし替へやうとすると、襟に動く氣配がし、肩ごしにむつの手がのびて健三の手から鈴蘭の花が取られた。何か予感がして眼をつむるのである。頸筋がひやりとするので振り向くとむつが花を衿頸に差したのが判つた。向きなほつた健三の顔を兩掌に挾んで

「生佛よ」

と上氣した顔がニヤリとした。

「兄さんが僕で、僕が兄さんなら……」

その言葉は何んの意味を託したのか健三は自分にも分らないのだが、むつの表情は泣き笑ひをしてゐた。

四十九日を境にしてむつの態度はぐッと露骨になつた。その表情は大膽な愛撫をぐんぐん押しつけて來るのだ。のみならず家庭中の色々な點に渡つてむつの不貞々々しい動作は健三を（第）の位置から（夫）の位置に置き替へた。

例へば—或る夕方、健三は小供が急に愚痴りだしたので抱き上げあやしてゐると、台處で夕餉の仕度をしてゐたむつが白いエプロンに手を拭き〳〵入つて來た。

「ママ、うーんママ」

と小供は母に向つて兩手擴げ抱き移されると愚痴ることを忘れてニコリとした。

「困るわねえ、ミーちやんは、もちよつとだのに」

むらさき色の乳首に小供は武者振りついた。健三は妙に隔てのある氣持でながめるのだ。若し兄の義三が生きてゐてこの場にゐたら、もつと美しく、愛情に滿ちた情景が展開されてゐただらうと思はれ今の自分はこの娘の、父に對する美しい思ひ出を汚すに役立つのみだと、今更自分の位置が愚しいものと感じられたが、こんな健三の心の動きをむつは知つてゐるやうだつた

「あれだあれ？」

むつが健三を指して小供に言つた。

「兄チヤン—」

「チガフ、パパよ」

すると小供は健三を振り向き、けゞんそうな顔をした。

「あれミーちやんのパパ、これミーちやんのママ」

健三を指差し、自分の鼻の先をさすのである。健三は表情の仕方に困つた。押しつけがましいむつのしぐさが妙に淫しく、落ちつかないのであつた。

吉林鉄路局 祝 新築落成

火蓋を切つた！

戰跡訪問マラソンリレー

全市歡呼に沸き勇者の意氣潑剌

覇を競ふ二十八チーム

ロートル軍優勝す

新京體育聯盟、時局後援會主催、本社後援の第四回戰跡訪問マラソンは思ひ出も新たな十八日を期して擧行された紺碧一點の雲をも止めぬ秋空の下、燦々とふりそゝぐ陽光に白線いと鮮かなスタートラインに勢揃ひした選手は各自チームの榮譽を双脚にこめ戰はざるにすでに意氣天を衝く、正午後一時四十分岡スターターの手にせる號砲一發二十八のマーキユリーは一齊に大地を蹴つてスタートした、かくて各選手は應援のトラック、自動車、オートバイの聲援に護られて一路忠靈塔に向つて韋駄天の如く疾驅、英靈に默禱を捧げてコースを和泉町に出で寬城子の戰跡を弔ひ第二コース新京驛前を經て滿電前に出で更に第三コース南關を通過第四コース南嶺の戰跡に花輪を捧げて再びコースを逆戻りし大馬路から日本橋を驛前に出で西公園前のゴールに入つたが沿道は手にせる應援旗の波々々、その中を疾驅する選手の姿は往昔のオリムピアを彷彿せしめるものあり、終始他チームを壓してゐたロートル倶樂部は午後三時十分西公園前の會場を埋める觀衆が贈る萬雷の拍手に迎へられてゴールイン、走破距離一萬七千米所要時間一時間三十一分である、ついで前年の覇者アスレチック倶樂部、工學院の順序にて午後三時四十分滿鐵消費組合B組をラストに二十八チーム一人の落伍者も出さず堂々ゴールに入つた

各少年選手の勇躍は天晴れ

惜しやアスレチック

午後一時四十分華々しくスタートは切られた二十八選手は香先きにと忠靈塔に向け快走した、一着は工學院、一着アスレチック、三着ロートル、四着守備隊と順を追ひ他は百メートルを離れ同樣に忠靈塔に到着した、全コース中難コースと云はれる寬城子間で二着は揃つて斷然他のチームを拔き悠々と二コース電業支店前に到着し約百メートルを離れ、ロートルチームつゞいて獨立守備隊、需用處A組、商業A組電業、新京署、商業B組といづれも百メートルを切り離して三コースに入つたが三着を追つてゐたロートル本野弟は斷然スピードを出して幾分弱つてゐた工學院を五馬路附近で拔き、更に南關四コースに入らんとした際一着の強豪アスレチックを見事に拔き斷然一着となつた又三コースで九着を追つてゐた新京署も同樣韋駄天の如く快速力で六着にこぎつけた、四コースに入り工學院と守備隊は大接戰を續け五コースに入る前五百メートルで守備隊は百五十メートルを切り離し三着となつた、六コースに入りアスレチックはロートルを拔き一着となり、再度の優勝と見られたがゴール前三百メートルになるやロートル物凄い快走振でアスレチックを拔き遂に一着の榮冠を獲得した又一着から五着になつた工學院もラストスピードをかけ四着の守備隊を拔き三着となり同樣新京署は商業A組を拔き五着となつた、此外特に異彩を放つたのは普通學校が第三コースから九等になり四、五コースとも九等を保持してゐたが六コースに入り電々會社に拔かれ十着となつたが同チームは少年でありながらよく奮鬪したことである、その他室町小學校A、B、商業E、F普通學校Bの少年が一萬七千メートルを堂々走破したことは賞讃すべきである、これ等少年の活躍は新京体育界を心強くするものである

十等までの各ゴール着順

各チーム番號

1、電々會社　2、商業A組　3、電業公司　4、普通學校A　5、アスレチック倶樂部　6、消防隊　7、獨立守備隊　8、ロートル倶樂部　9、新京署　10、キリスト教青年會　11、需用處A　12、雙發號　13、工學院　14、青年學校交通會社　16、滿鐵消費組合A　17、鐵道北チーム　18、八島倶樂部（棄權）　19、室町小學校A　20、大成號　24、商業B　25、商業C　26、商業D　27、商業E　28、商業F　29、需用處B　30、室町小學校B　31、普通學校　32、滿鐵消費組合B

各ゴールにおける十等までの成績は左表の如くである

等級　コース	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
寬城子	13	5	8	7	11	2	28	3	24	9
滿電前	13	5	8	7	11	2	3	28	9	24
南關	8	5	13	7	2	9	3	24	4	31
南嶺	8	5	7	13	2	9	24	3	4	1
南關	5	8	7	13	2	9	24	3	4	11
ゴール	8	5	13	7	9	2	3	24	1	4

榮ある優勝旗授與式を擧行

マラソン大會終る

榮ある優勝旗及び賞品の授與式はラスト選手のゴールインを待つて直ちに擧行された、參加選手は出發前に整列した順序で會場に整列、上田審判長より今日の第一着ロートル倶樂部本野主將に優勝旗と體育聯盟及び本社寄贈の大カップを授與し、ついで二着アスレチック倶樂部、三着工學院にそれ〴〵優勝旗とカップを、四着獨立守備隊に楯を、五着新京署にカップを授與し以下參加チーム到着順にメダルと賞品を授與し、武田大會長代理野村社會主事より感謝と感激に滿ちた鄭重なる挨拶あり午後四時二十分意義深き第四回戰跡訪問マラソンは空前の盛況裡に閉會した

成績

第四回戰跡訪問マラソンの成績は左の如くである

一着　ロートル倶樂部　一時間三一分〇三秒
二着　アスレチック倶樂部　一時間三一分一七秒
三着　工學院　一時間三一分四八秒
四着　獨立守備隊
五着　新京署
六着　商業學校A
七着　電業公司
八着　商業學校B
九着　電々會社
十着　普通學校
十一着　需用處
十二着　キリスト青年會
十三着　商業學校F
十四着　鐵道北チーム
十五着　商業學校C
十六着　普通學校B
十七着　需用處B
十八着　室町小學校A
十九着　消防隊
二十着　青年學校
二十一着　雙發洋行
二十二着　商業D
二十三着　室町小學校B
二十四着　商業學校E
二十五着　交通會社
二十六着　滿鐵消費組合
二十七着　同B
二十八着　大成號

戰跡マラソン　賞品

寄贈者芳名

その後戰跡マラソンリレーに賞品を寄贈した氏名は左の通り

▲新京百貨店吳服部田村氏　ラクダ製靴下半打
▲平木洋行　上等タオル三打
▲新京百貨店蓄音器部宮本氏　伯來ハーモニカ五個
▲日の出屋商店　セルロイド製一輪差六個

＝戰跡マラソン畫報＝

寫眞上から ロートル倶樂部本野選手のゴール入り、選手一同上田審判長の注意を聽く、優勝したロートル倶樂部

全市民默禱　嚴肅の氣漲る

昨夜の事變時回顧

十八日午後十時想起せよ！四年前のこの日この時！柳條溝の鐵路爆破を導火線として聖戰の火蓋を切つた刹那を永へに晉れ等日滿兩國人の腦裡に銘記すべき時、新京では全市一齊に電燈を閉滅し、サイレンを吹鳴し、通行中の車馬は悉く中止してこの聖戰に殉國の英靈と化した幾多の人柱には心からなる感謝の默禱を捧げ、更に伸びゆく王道樂土の無窮ならんことを祈り全市に嚴肅なる空氣張り刹那神嚴なる光景を呈した

行事終る

滿洲事變記念行事の最後を飾る記念講演と映畫の夕は時局後援會主催の下に十八日午後七時から記念公會堂において擧行された、武田地方事務所長は北鮮方面に出張中の爲野村社會主事が代つて開會の挨拶を述べ、直ちに講演に移つて四戸友太郎氏演壇に立ち「義勇團活動の思ひ出」と題して四年前の市民一致の活動をまざ〳〵と眼前に彷彿たらしめる熱辯をふるひ滿堂の聽衆の拍手に送られて降壇、次いで關東軍野副中佐は「滿洲事變記念日所感」と題し得意の熱辯を振つた非常時はなほ今後にありと市民の覺悟を促すところあり、九時頃講演會を終つて引つゞき映畫會に入り軍事映畫「砲煙彈雨」六卷および「總動員」四卷を上映觀衆に感動を與へて十時半ごろ意義深き記念行事の終幕をつげた

國境治安を果して　靖安軍かへる

けふ新京を通過し奉天へ

久しき間國境東寧地方にて治安維持に當つてゐた美崎上校の指揮する靖安軍第一團は十九日午後一時五十二分ハルピンより着京、同日午後八時五十五分新京發にて奉天に凱旋することになつた

新京美術協會　あす幹事會

この程創立を見た新京美術協會では二十日午後四時から協和會會議室で幹事會を開いて協會創立の具體的詳細問題に就て協議するが差當つて會規の作製、顧問、贊助員の決定講演會の開催等につき協議決定を行ふ筈である

步兵學校教官一行

陸軍步兵學校職員戰史研究團海野大佐一行十一名は十七日午後五時半大連より來京大和ホテルに休養十八日は新京附近の戰跡視察をなした

老若の婦人も共に和かな親善振り

協和會主催、學生雄辯大會　なか〳〵の盛況

滿洲國協和會主催、新京、吉林、哈爾濱、奉天の四大都市代表學生雄辯大會は日本の滿洲國承認三週年を記念し、九一八の事變日より四年目のけふ、新京記念公會堂に於いて午後一時より開催された、すでに定刻前より長春師範、長春兩級中學、新京市立兩級小學、西三馬路小學校の男女學生千數百名が續々と押しかけ張外交部大臣協和會理事長として審査員に加はれる外來賓に韓新京特別市長其他あり更に滿、日の一般來聽も多く公會堂ホール上下を埋め盡し中に老若の邦婦人も混はりまさに親善實現の快よき情景の緊張裡に、八名の下記學生諸君が斯委員、結城委員（呂局長の代理）の挨拶後、それ〴〵新興國青年學徒の意氣を示す熱辯をふるつた、かくて全部の演說終り韓雲階特別市長及び張燕卿理事長の特別講演あつて、次の如く審査の結果を發表審査委員長より講評をなした

入選者
一等　哈爾濱　宋恩吉君
二等　新京　曲紹君
三等　吉林　朱保寬君

右により一等宋君に文敎部大臣賞（時計）協和會々長賞（銀カップ）二等曲君に國務院總務廳長賞（銀花瓶）協和會賞（時計）三等朱君に特別市長賞（銀盾）協和會賞（時計）を授與なほ參加者全部に參加證並びに硯一個宛を呈し午後四時三十分閉會した

これは珍答

宇佐美さんが二位一体　白米一石三百五十圓也

新京驛の採用試驗

新京驛ではさる十五日新入驛員の採用試驗を行つたところ二十名そこ〳〵の採用に受驗者は二百八十名、在滿青少年たちの就職難も思ひやられるが、採用試驗中常識問題の答案中にはふるつた珍答案が多くて審査員を苦笑させた、その二、三を紹介してみやう

一、二位一体……宇佐美さん、滿鐵理事、鐵路總局長
一、卓見……テーブルで會見して話すこと――ゆつくりテーブルを圍んで意見を述べること
一、白米一石の市價……最高三百五十圓、最低三十五錢

中銀快勝す　對財政部競技

中央銀行對財政部の陸上競技定期對抗戰は十八日午後三時より中銀新發屯グラウンドにおいて開催、戰績左の如く中銀十點をリードして快勝した（得點法　三點、二點、一點）

△百米一等李（中銀）十二秒七二等安樂（財政）三等江原（同）
△四百米一等渡邊（中銀）五七秒五、二等岡田（中銀）三等安久（同）
△千五百米一等欒（中銀）五分二、二等玉（同）三等木村（財政）
△八百米リレー一等中銀チーム一分四十二秒
△砲丸一等長谷川（財政）一三米三五、五、二等安樂（同）三等高橋（中銀）
△走高跳一等引頭（中銀）長谷川（財政）一米六五、三等篠田（中銀）
△走巾跳一等篠田（中銀）六米六、二等一塚（同）、三等伊達（財政）
△圓盤投一等長谷川（財政）三四米八八、二等安樂（財政）三等勝山（中銀）

南大將夫人昨夜着く

二位一体の重職にあり渡滿以來國防第一線にあつて多忙な日を暮してゐる南軍司令官官邸にはこの春から二令孃が來て慰めてゐたが今度嘉久子夫人が隨行二名とゝもに渡滿、十八日午後九時着ひかりで朝鮮經由來京した

司法官會議

けふから開く

滿洲國に於る第四次司法官會議は十九、廿、廿一日の三日間に亘り新京記念公會堂に於て開會するが、治外法權撤廢問題の緊迫してゐる折柄その成果は各方面より注目されてゐる

江部候補決定

敎育團幹事挨拶に來社

新京高等女學校長江部易開氏の地委立候補挨拶のため十八日午後瀨川西廣場小學校長ほか敎育團幹事一行は來社した

今度天津に行くことになつた地方事務所の淵脇さんは支那語はうまいが日本語はうまくない、皮肉な男があつたもので田舎からきた若い男に淵脇さんを「この人は標準語がうまいから大いに習ひ給へ」と敎へたもの、あとで皮肉が判つて田舎男が「なあんだ、幼稚園の標準語だ」と言つたといふ話

鮮魚小賣相場

品名	相場
活鯛	一、四五―六〇
氷鯛	三八
小鯛	八五―二〇
ニベ	二一―二〇
ヒラス	五二―四〇
サハラ	二二―一四
ス、キ	二五―二〇
サバ	二二―二〇
アチ	二五―一六
ヒラメ	三五―三〇
ボラ	一二―九
コノシロ	二〇―一七
キス	六〇
マナカツオ	五〇―二三
ハゲ	四〇―三五
チツ	二二
タコ	二六―二〇
イカ	二〇
カキ	二五―一五
シジミ	五
鹽サケ	二五
ウナギ	一、〇〇―七二
鮎	五二―四六

愛よ戰ひとれ

（上海映畫化）　福田正夫　泉武久畫

（三十四）

追放者（三）

「はい」

勝子があわててゝ立ち上つた時、勝美は外からまた呼んだ。

「おいで、應接室へ……」

「はい」

どんな用だらう？　勝子がさう思つてゐる間に、勝美はすぐ走つて行つてしまつた。主人の氣質を知つてゐる勝子は、すぐあとを追はなくてはならなかつたのである。そしてそつと廊下をふんで、應接室の扉をたゝくと、男のバスが中からたづねた。

「伊野さんかね」

「はい」

「おはいんなさい」

「は！」

扉をあけると、思ひがけずも、渡邊浩がにやにやと笑ひながら。

どかりと椅子に腰をすえてゐた。

「はいり給へ、さあ……」

勝美もその向ふに立つてゐた。

「はいるといゝわよ」

「はい」

勝子はなにか恐ろしいものを感じたが、おずおずと這入つて、すゝめられるまゝに、椅子に漸く腰を下した。

勝美はピアノの椅子にかけるとくるりとそれを廻して、するどい眼を勝子に浴びせた。

「おまへね。今日からこゝの家にゐられないんだよ。母さんが怒つてゐるしね。……知つてるかい」

「は！」

「餘計なことをいつたりするからさ」

勝美は冷やかに笑つたのである。

「しかたない、あきらめるがいゝわ。そして僕のことは、浩さんが……なにか知らないけれど、見てところがあるから世話をしようつていふの」

勝美はかすかに笑つた。

「だから、よく話をきくがいゝわ」

「いや！」

渡邊が胸をそらして勝子をみつめた。

「僕は、氣の毒に思ふんでしてね。出來ることなら、あなたの說みもわかつてゐるし、その方面へ世話して上げようと思ふ」

勝美が、冷やかではあるが、毒のある笑ひを投げた。

「ある代償をさし出しさへすればね」

「まあ！」

「違ひますよ、勝さん！」

渡邊はあわてゝ驚いてゐる勝子を見た。

「そんな、そんなことはないんだ、僕は清淨な愛を以て、君の藝術を開拓して上げたいんだ」

「ふん！」

勝美が笑つた。

「口ではなんとでもいへるわ」

「勝さん！」

渡邊が叫んだ。

「そんなに疑ぐるなら、僕はこの人の世話なんかしなくていゝです」

「ほゝ！」

勝美がくるりと向きを變へて、渡邊の顏をのぞき込んだ。

「妥協するわよ。……わかつてゐるけれどもね。お勝も、天才とやらであるなら、浩さんにすがるといゝ。私は嫌ひな人だけれど、女にはきつと親切だわ」

彼女はぽんと椅子から下りると扉に向つて步き出した。

「ゆつくり話しなさいよ」

「勝さん！」

渡邊が呼んだけれど、勝美はふり向きもしないで行つてしまつた。

新京區公示第二十號

新京區地方委員委員及豫備委員ノ總選擧期日ハ都合ニ依リ左ノ通延期セラレタリ

昭和十年九月十五日

南滿洲鐵道株式會社　新京地方事務所長　武田胤雄

記

新京區　昭和十年十月二日

但シ時宜ニ依リ選擧期日ヲ延期スルコトアルヘシ

新京區公示第二十號

茲ニ施行新京區地方委會委員及豫備委員總選擧日期因事改貸左開日期特此佈告

昭和十年九月十六日

南滿洲鐵道株式會社　新京地方事務所長　武田胤雄

記

新京區　昭和十年十月二日

若發生特別事故時得將隨時改定

范家屯區公示第十二號

范家屯區地方委員會委員及豫備委員ノ總選擧期日ハ都合ニ依リ左記ノ通延期セラレタ

昭和十年九月十六日

南滿洲鐵道株式會社　新京地方事務所長　武田胤雄

記

范家屯區　昭和十年十月十四日

但シ時宜ニ依リ選擧期日ヲ延長スルコトアルヘシ

范家屯區公示第十二號

茲爲施行范家屯區地方委員委員及豫備委員總選擧日期因事改爲左開日期特此佈告

昭和十年九月十六日

南滿洲鐵道株式會社　東京地方事務所長　武田胤雄

左開

范家屯區　昭和十年十月四日

若發生特別事故時得將隨時改定

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪行）

×印ハ三等船客設備船　▲印廣島寄港

船名	日付
うらる丸	九月二十日
はるぴん丸	九月廿一日
熱河丸	九月廿二日
ばいかる丸	九月廿三日
うすりい丸	九月廿五日
▲亞米利加丸	九月廿六日
吉林丸	九月廿七日
扶桑丸	九月廿九日
×[illegible]丸	三十日

（午前十時大連出帆）

切符發賣所

滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビューロー案內所

船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ヶ月）

大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ヶ月）

專屬荷扱所　國際各地運輸會社支店

大阪商船株式會社

大連支店電(二)一一五一番　奉天事務所電話四〇八九番　新京事務所電話三三一六番　哈爾賓事務所電五四三二番

北日本汽船

敦賀直航

●さいべりや丸　（月三回）毎一ノ日出帆

●滿洲丸　（月三回）毎六ノ日出帆

日本海汽船

新潟直航

●嘉義丸　（月三回）毎九ノ日出帆

雄基發前九時　清津發後五時

●國鐵及滿鐵主要驛並ニJ・T・Bニテ內地指定各驛迄ノ連絡切符發賣

南滿四… 新彩社